

←ていねいに引っぱってください。別冊解答になります。

中学基礎がため100%

できた! 中1 英語

文法

別冊
解答と解説

○のあとの数字は、まとめのページの **チェック** の番号に対応しています。

KUMON

セクション 1-1 This is ~. の文①

ポイント確認ドリル P.5

1 答 (1) こちら (2) これ (3) あれ

考え方 ① 近くにあるものには This is ~. を使い、遠くにあるものには That is ~. を使う。(1)・(2) 人には「こちらは」を使い、物には「これは」を使うようにする。

2 答 (1) a (2) an (3) a (4) an

考え方 ① (2)・(4) それぞれ e, o という母音で始まっているので an が入る。

3 答 (1) This is Japan.

(2) This is a dog.

考え方 ① (1) 「これは～です」は This is ~。(2) dog の前の a を忘れないように。

P.6・7

1 答 (1) a (2) an (3) × (4) a (5) an (6) ×

考え方 ① (2)・(5) 次の語が母音で始まる名詞なので an が入る。(3) my (私の) や your (あなたの) のような語と a, an はいっしょに使えない。(6) 地名や国名、人名(このような名詞を「固有名詞」という)の前に a, an を使わない。

2 答 (1) That is [That's] a plane.

(2) This is a dog.

(3) That is [That's] my book.

(4) This is Japan.

考え方 ① 近くにあるものには This is ~. を (→(2)・(4)), 遠くにあるものには That is ~. を (→(1)・(3)) を使う。That is の短縮形は That's になるが、This is の短縮形はない。

3 答 (1) This is my cat.

(2) That is your pen.

(3) This is an apple, too.

(4) This is my pencil, too.

考え方 ① (1) 主語は This, 動詞が is になる。(2) 「あなたの」は your。このあとに名詞が続く。(3) apple が a という母音で始まっているので an を使っていることにも注意。(4) my は名詞(ここでは pencil)の前に。

4 答 (1) This is an orange.

(2) This is my camera.

(3) That is [That's] your pencil.

(4) That is [That's] my camera (,) too.

考え方 ① (1) orange は o という母音で始まっているので, an を使う。

(2) my を使ったら, a を使えない。

(3) my と your の違いを確認しよう。

(4) too の前のコンマは省いてもよい。

セクション 1-2 This is ~. の文②

ポイント確認ドリル P.9

1 答 (1) not (2) not (3) Is

(4) that

考え方 ① (1)・(2) 否定文は is のあとに not。(3)・(4) 疑問文は is を this [that] の前に出す。書きかえた文の意味は次の通り。(1) 「これはテーブルではありません」(2) 「あれは私の自転車ではありません」(3) 「これは卵ですか」(4) 「あれはあなたのコンピュータですか」

2 答 (1) Yes (2) No (3) No

考え方 ① (1) it is だけなので, Yes の答えになる。「これは犬ですか」—「はい, そうです」(2) it is not と not があるので, No の答えになる。「あれは飛行機ですか」—「いいえ, そうではありません」(3) it isn't は it is not に短縮形を使ったものなので, No の答えになる。「これはあなたの自転車ですか」—「いいえ, そうではありません」

3 答 (1) Is this Japan or China?

(2) What is this?

考え方 ① (1) 「これは～ですか (, それとも) …ですか」は, Is this ~ or ...? の形になる。もともと Japan や China には a も an もつかないので, or の疑問文でもつかない。(2) 「これ[あれ]は何ですか」は, What is this [that]? になる。

P.10・11

1 答 (1) not (2) this (3) What

(4) or

考え方 ① (1) This is a pencil. の否定文になる。

is のあとに not。

- (2) This is your house. の疑問文になる。主語の this を補う。
- (3) 文頭なので What と大文字にする。
- (4) どちらかを選ばせる疑問文には or を使う。

2 答 (1) Yes, is (2) an egg
(3) a bus (4) an apple

考え方 ① is を使った疑問文には基本的には is を使って答える。また、疑問文の this, that は答えの文では it にする。答えの文の意味は次の通り。(1) 「はい、そうです」
(2) 「卵です」 (3) 「バスです」
(4) 「リンゴです」 apple は a という母音で始まっているので an を使う。

3 答 (1) This is not[isn't] a calendar.
(2) Is that my dictionary?
(3) Is that a bird or a plane?
(4) What is[What's] this?

考え方 ① (1) is のあとに not を入れる。
(2) is を主語 that の前に出す。
(3) Is that のあとに、A or B の形を続ける。どちらも a を忘れないように。
(4) 「これは卵です」→「これは何ですか」

4 答 (1) This is not a book.
(2) What is that?
(3) Is this your cat? — Yes, it is.
(4) Is this Japan or America?
— It is[It's] Japan.

考え方 ① (1) This is a book. の否定文。
(2) That is ~. の文の~の部分が変わらなくて、その部分を What にした疑問文と考えればよい。
(3) This is your cat. の疑問文。
(4) Is this Japan? と Is this America? の2文を or で1文にまとめたもの。

セクション **2-1** is, am, are のある文①

▶▶ ポイント確認ドリル P.13

1 答 (1) She (2) He (3) He
(4) She

考え方 ① 男性には he を、女性には she を使うことをまずおさえておく。次の各訳文の下

線部に注意しておこう。

- (1) 「こちらは私の母です。彼女は看護師です」
- (2) 「こちらは私の父です。彼は先生です」
- (3) 「こちらは私の兄[弟]です。彼は学生[生徒]です」
- (4) 「こちらは私の姉[妹]です。彼女も学生[生徒]です」

2 答 (1) not (2) is (3) he
(4) Is

考え方 ① (1)・(2) 否定文は is のあとに not。
(3)・(4) 疑問文は is を主語の前に。
(1) 「彼は私の先生ではありません」
(2) 「彼女は亜希子ではありません」
(3) 「彼は医者ですか」
(4) 「彼女は看護師ですか」

3 答 (1) he (2) she (3) Yes
(4) Who

考え方 ① (1) 「あなたのお兄さん[弟さん]は学生ですか」—「はい、そうです」 brother は男性。
(2) 「あなたのお母さんは先生ですか」—「はい、そうです」 mother は女性。
(3) 「あなたのお姉さん[妹さん]は看護師ですか」—「はい、そうです」 she is だけなので Yes の答えになる。
(4) 「この男の子はだれですか」—「彼は男です」「だれ?」とたずねるには Who を使う。

P.14・15

1 答 (1) He's (2) She's
(3) He isn't[He's not]

考え方 ① (1) 「彼は～です」は He is ~.
(2) 「彼女は～です」は She is ~.
(3) He is の短縮形が He's で、is not の短縮形が isn't になる。

2 答 (1) Is / Yes (2) Is / she
(3) Is / he (4) Who / He's

考え方 ① (1) 「彼女はあなたの友だちですか」—「はい、そうです」
(2) 「山本さんはあなたの先生ですか」—「いいえ、ちがいます」
(3) 「中村さんは医者ですか」—「はい、

そうです」

(4) 「あの男の人はだれですか」—「彼は私の父です」

3 **答** (1) 彼女は私の姉(妹)ではありません。彼女は私の新しい友だちです。

(2) 林さんは九州の出身ですか、それとも四国の出身ですか。——(彼は)九州の出身です。

考え方 ① (1) 第2文の〈my + 形容詞 (new) + 名詞 (friend)〉の語順にも注意しておこう。

(2) from はもともと「～から」の意味で、出身地を表すのにも使うことができる。

4 **答** (1) He is not[He isn't / He's not] an English teacher.

(2) Is she a college student?

(3) Who is[Who's] this woman?

(4) What is[What's] this fruit?

考え方 ① (1) an が使われているのは、そのあとに続いている English が E という母音で始まっているため。このように名詞の前についた形容詞が母音で始まっている場合も an を使う。「彼は英語の先生ではありません」の意味になる。

(2) 「彼女は大学生ですか」の意味になる。

(3) 「だれ?」とたずねるときは who を使う。

(4) 下線部が物なので、who ではなく what を使う。「このくだものは何ですか」の意味になる。

5 **答** (1) She isn't my aunt.

(2) Is Ms. Smith from America?

(3) He is not[He isn't / He's not] my teacher. He is[He's] my father.

(4) Who is[Who's] she? — She is [She's] Kate.

考え方 ① (1) 「彼女は私のおばではありません」という否定文を作る。〈主語 (She) + be 動詞 (is) + not[→ isn't] ...〉の語順になる。

(2) 「スミスさんはアメリカの出身ですか」という疑問文を作る。Ms. は Ms のように(.)を打たないで使うこともある。未婚・既婚に関係なく女性に使うことができる。

(3) my のあとには名詞が続くことを覚えておこう。

(4) 話し言葉ではふつう短縮形を使う。

セクション 2-2 is, am, are のある文②

▶▶ ポイント確認ドリル

P.17

1 **答** (1) am (2) are (3) I

(4) You

考え方 ① まず, I am ~. で「私は～です」, You are ~. で「あなたは～です」の意味になることを確認しておこう。

(1) I に合う be 動詞を補う。「私は山田敬子です」

(2) You に合う be 動詞を補う。「あなたは大学生です」

(3) am に合う主語を補う。「私はテニスの選手です」

(4) are に合う主語を補う。「あなたは看護師です」

2 **答** (1) not (2) not (3) Are

(4) you

考え方 ① (1)・(2) 否定文は be 動詞(am, are)のあとに not を入れる。

(3)・(4) 疑問文は be 動詞を主語の前に出す。書きかえた文の意味は次の通り。

(1) 「私は鹿児島出身ではありません」

(2) 「あなたは医者ではありません」

(3) 「あなたは学生[生徒]ですか」

(4) 「あなたはケートですか」

3 **答** (1) am (2) I (3) Yes

(4) are

考え方 ① (1)・(2) 「あなたは?」とたずねられているので、答えの文では「私は～」となる。

(3) I am だけなので、Yes の答え。

(4) 「私は?」とたずねられているので、答えの文では「あなたは～」となる。

(1) 「あなたは音楽の先生ですか」—「はい、そうです」

(2) 「あなたは私の先生ですか」—「はい、そうです」

(3) 「あなたは横浜の出身ですか」—「はい、そうです」

(4) 「私はあなたの友だちですか」—「はい、そうです」

- 1** ① (1) are (2) is (3) am
(4) is

考え方 ① (1) you に合う be 動詞は are。「あなたは野球の選手です」
(2) This や That に合う be 動詞は is。「これは私のコンピュータです」
(3) I に合う be 動詞は am。「私は高校生です」
(4) Ms. Mori は She に置きかえられるので、She に合う be 動詞を使えばよい。「森さん[先生]は新潟の出身です」

- 2** ① (1) Are / I am (2) are you
(3) you / am / I'm (4) or / I'm

考え方 ① (1) 「あなたは？」とたずねられているので、「私は～」で答える。「あなたは新生徒ですか」—「はい、そうです」
(2) 「だれ？」には Who を使う。Who のあとは疑問文の語順になるので、are you の順になる。「あなたはだれですか」—「私は健の弟[兄]の博です」
(3) Are の be 動詞から主語 you を、I の主語から be 動詞 am を補う。3つ目の空所には短縮形が入る。「あなたはアメリカの出身ですか」—「はい、そうです。私はニューヨークの出身です」
(4) Are you ~? の疑問文に or が使われている。「あなたは学生ですか、それとも先生ですか」—「私は先生です」

- 3** ① (1) 私は野球の選手です。あなたも野球の選手です。
(2) あなたは私の父ではありません。だから、私はあなたの息子ではありません。
(3) あなたのお仕事は何ですか[あなたの職業は何ですか]。— 私はパイロットです。

考え方 ① (1) player は文字通り「選手」の意味もあるが、単に「(野球などを)する人」の意味でも使われることがある。too は「～も」の意味だが、下の例文では too は soccer にかかっていることに注意しよう。
[例] I am a baseball player.
I am a soccer player, too.
(私は野球の選手です。私はサ

ッカーの選手でもあります。)

- (2) 前半も後半も否定文になっていることに注意。so は「だから、それで」の意味で、文と文などを結びつける働きをする。
(3) Who are you? が「あなたはだれですか」という意味を表すのに対し、What are you? は「お仕事は何ですか」と、ふつうは職業をたずねる言い方になる。ただし、どちらもぶしつけな感じの英語になるので、目上の人には使わないように。

- 4** ① (1) You are [You're] a high school student.
(2) I am not [I'm not] Kumi's sister.
(3) Are you from China?
(4) Are you a teacher?

考え方 ① (1) 下線部は主語。主語が You になると、be 動詞も are にかわる。「あなたは高校生です」
(2) be 動詞 am のあとに not が入る。「私は久美の姉[妹]ではありません」
(3) be 動詞 are を、主語 you の前に出す。「あなたは中国の出身ですか」
(4) 答えの文の主語が I なので、疑問文の主語は you になる。

- 5** ① (1) You are not my classmate.
(2) Are you Yumi or Kumi [Kumi or Yumi]?
(3) I am not [I'm not] a college student.
(4) Are you a doctor? — No, I am [I'm] not.

考え方 ① (1) be 動詞に are があるので、主語は You だとわかる。このあとに否定文を作る not を続ける。「あなたは私の同級生ではありません」
(2) Are you ~? の疑問文に or を使ったもの。「あなたは由美ですか、それとも久美ですか[久美ですか、それとも由美ですか]」
(3) I am ~. の否定文になる。am のあとに not を入れる。
(4) 質問の文の主語は you で、答えの文の主語は I になる。

セクション **3-1** like, have などの文
【一般動詞】①

▶▶ ポイント確認ドリル P.21

1 答 (1) like (2) have (3) know

考え方 ① (1) 「～が好きだ」は like。
(2) 「～がいる」は have。have はいろいろな意味に使われるが、もとは「～を持っている」が基本の意味になる。
(3) 「～を知っている」は know。
動詞のあとにきて、一般に「～を」の意味になる語(句)を目的語という。

2 答 (1) do not (2) don't

考え方 ① 一般動詞の否定文は、動詞の前に do not かその短縮形 don't を置く。
(1) 「あなたは日本語を話しません」
(2) 「私は数学が好きではありません」

3 答 (1) I study English hard.

(2) I don't like your dog.

考え方 ① 英語の文は、語順が重要になることをまず覚えておこう。動詞の動作などの対象となる語句(目的語)がある文では、〈主語+動詞+目的語〉の語順が基本になる。
(1) 主語 = I, 動詞 = study, 目的語 = English でこの語順になる。
(2) 一般動詞の否定文。動詞の前に don't がくる。主語 = I, 動詞 = (don't) like, 目的語 = your dog。

P.22・23

1 答 (1) play (2) like (3) have

(4) speak

考え方 ① 動詞と目的語の関係を考える。文法的には可能でも、意味的にはふつうはありえないような文は作らないように。
(1) 「私は毎日サッカーをします」
(2) 「私はあなたのネコが大好きです」
(3) 「私は新しい自転車を持っています」
(4) 「私は上手に英語を話します」

2 答 (1) know (2) study (3) don't

(4) aren't

考え方 ① (1) 一般動詞の文。I am your brother. だけなら正しい文だが、well(よく)があるので know になる。know ~ well で「～をよく知っている」の意味。

(2) 一般動詞の文。math が study の目的語になる。「あなたは一生けんめい数学を勉強します」
(3) 一般動詞の否定文。a car が目的語。「あなたは乗用車を持っていません」
(4) be 動詞の否定文。「あなたは新入生ではありません」

3 答 (1) あなたはピアノを弾きます。私もピアノを弾きます。

(2) 私は数学が好きではありません。(私は)理科も好きではありません。

考え方 ① (1) 一般動詞の肯定文に too が使われている。
(2) 一般動詞の否定文に either が使われている。

4 答 (1) don't have (2) don't study

(3) don't go

考え方 ① (1) have が動詞。have の前に do not の短縮形の don't を置く。「私は新しい乗用車を持っていません」
(2) study が動詞。「あなたは熱心に英語を勉強しません」
(3) go が動詞。

5 答 (1) I have a pencil

(2) I play the guitar

(3) I do not know your sister well.

(4) You don't play the piano very well.

考え方 ① (1) 一般動詞 have を使った肯定文。
(2) 一般動詞 play を使った肯定文。guitar の前には the がつく。
(3) 一般動詞 know を使った否定文。
(4) 一般動詞 play を使った否定文。not ~ very ... で「あまり…ない」の意味を表す。

6 答 (1) I have a new bike.

(2) I do not[don't] play baseball.

(3) You play the piano every day. I play the piano every day(,) too.

(4) I do not[don't] like English. I do not[don't] like math(,) either.

考え方 ① (1) 〈a + 形容詞(new) + 名詞(bike)〉の語順にも注意しておこう。
(2) 一般動詞の否定文になる。baseball

の前に a はつかない。

(3) 2文とも一般動詞の肯定文。肯定文なので、「～も」には too を使う。too の前のコンマ(,)は省いてもよい。

(4) 2文とも一般動詞の否定文。否定文の「～も(ない)」には either を使う。too と同じように、コンマは省いてもよい。

セクション **3-2** like, have などの文
【一般動詞】②

ポイント確認ドリル P.25

1 答 (1) Do (2) study (3) Do you
(4) Do, speak

考え方 ① 一般動詞の疑問文は Do を主語の前に置いて、〈Do+主語(you)+動詞 ~?〉の語順になる。

- (1) 「あなたは野球が好きですか」
- (2) 「あなたは歴史を勉強しますか」
- (3) 「あなたはテニスをしますか」
- (4) 「あなたは英語を話しますか」

2 答 (1) Yes (2) do (3) don't
(4) What

考え方 ① (1) I do だけなので、Yes の答え。「あなたはピアノを弾きますか」→「はい、弾きます」

(2) Yes の答えなので、do を補う。「あなたはノートを持っていますか」→「はい、持っています」

(3) No の答えで空所が1つなので、do not の短縮形の don't を補う。「あなたはサッカーをしますか」→「いいえ、しません」

(4) 動詞 like の目的語が What でこれが文頭にくる。「あなたは何が好きですか」→「私は音楽が好きです」

3 答 (1) Do you study English hard?
(2) What do you have?

考え方 ① (1) 一般動詞の疑問文の〈Do+主語(you)+動詞+目的語 ~?〉にあてはめて考える。

(2) What のあとは疑問文の語順になる。

P.26・27

1 答 (1) Do, go (2) What do
(3) What sport

考え方 ① (1) 一般動詞の疑問文。go to の to にも

注意しておこう。

(2) この疑問文では What は動詞 like の目的語になる。

(3) この文では What sport が動詞 play の目的語になる。名詞の前につく What は形容詞の働きをする。

2 答 (1) エ (2) イ (3) ウ (4) ア

考え方 ① (1) 「あなたはピアノを持っていますか」
→「はい、持っています。私はギターも持っています」

(2) 「あなたはピアノを弾きますか」→「いいえ、弾きません。でもギターを弾きます」

(3) 「あなたはこの花が好きですか、それともあの花が好きですか」→「私はこの花が好きです」

(4) 「あなたは何を勉強しますか」→「私は英語と数学を勉強します」

3 答 (1) あなたは毎日この公園でサッカーを
しますか。

(2) あなたは(あなたの)かばん[バッグ]にどんな本を持っていますか。

考え方 ① (1) 場所と時を表す副詞(句)がいっしょに使われるときは、ふつう場所を表す副詞(句)のほうが先にくる。

(2) この文の What book は have の目的語になっている。

4 答 (1) Do you like your dog very
much?

(2) Do you like music?

(3) What do you have in that box?

(4) What do you see in this picture?

考え方 ① (1) 一般動詞の疑問文は、主語の前に Do を置く。「あなたは自分の犬が大好きですか」

(2) 「はい、そうです。私は音楽が好きです」→「あなたは音楽が好きですか」

(3) 「あなたはあの箱の中にボールを持っています」→「あなたはあの箱の中に何を持っていますか」

(4) 「あなたはこの写真[絵]に鳥が見えます」→「あなたはこの写真[絵]に何が見えますか」

- 5** ① (1) Do you know my sister?
 (2) What sport do you play?
 (3) Do you practice baseball every day?
 (4) What do you know?

考え方 ① (1) my sister が know の目的語になる。
 (2) What sport が play の目的語になる。
 (3) baseball に a はつかない。
 (4) What が know の目的語になる。

まとめのテスト① P.28・29

- 1** ① 1 ア 2 イ 3 ア
 4 イ

考え方 ① 1 主語が This のときの be 動詞は is。「これは私の本です」
 2 主語が I のときの be 動詞は am。「私はあなたの英語の先生です」
 3 I am a pencil では意味をなさない。「私は手にえんぴつを持っています」
 4 not が続いているので、don't にする必要はない。「私はあなたのお姉さん[妹さん]を知りません」

- 2** ① 1 これは私の家ではありません。あれが私の家です。
 2 私はバイオリンを弾きません。でもあなたはとても上手にバイオリンを弾きます。
 3 あなたはフランス語を話しますか。——いいえ、話しません。

考え方 ① 1 第1文は This is ~. の否定文になっている。
 2 but は前とのつながりが、逆になることを示す。「しかし、でも」などの意味になる。
 3 一般動詞 speak の疑問文とその答え。don't は do not の短縮形。

- 3** ① 1 What 2 your
 3 Who / is 4 What do

考え方 ① 1 Yes や No で答えていないことに注目する。「これは何ですか」—「それはギターです」
 2 or の疑問文。「これはあなたのカメラですか、それとも私のカメラですか」—「それは私のカメラです」
 3 答えの文で家族関係を答えているこ

とに注目する。「この女の人はだれですか」—「彼女は私のおばです」
 4 a ball が人ではなく物であることに注目する。「あなたはこの箱に何を持っていますか」—「ボールを持っています」

- 4** ① 1 That is an apple.
 2 Is that a fish?
 3 My sister is not[isn't] a nurse.
 4 What is[What's] this?

考え方 ① 1 apple は a という母音で始まっているので、a を an にかえる。「あれはリンゴです」
 2 is を主語 that の前に出す。「あれは魚ですか」
 3 be 動詞 is のあとに not を入れる。「私の姉[妹]は看護師ではありません」
 4 下線部は物なので、What を使う。「これは何ですか」

- 5** ① 1 Is that a river or a lake[a lake or a river]?
 2 You are not my English teacher.

考え方 ① 1 or の前後の名詞の前につく a を忘れないようにしましょう。「あれは川ですか、それとも湖ですか[湖ですか、それとも川ですか]。
 2 主語が You のときの、be 動詞の否定文になる。not は are のあとになる。「あなたは私の英語の先生ではありません」

- 6** ① 1 This is my book. That is[That's] my book(.) too.
 2 What is[What's] that? — It is [It's] an orange.
 3 Is he a teacher or a doctor? — He is[He's] a doctor.

考え方 ① 1 That is には短縮形があるが、This is には短縮形がないことを確認しておこう。too の前のコンマは省略してもよい。
 2 物をたずねる文になるので、What を使う。orange は母音で始まるので an。
 3 or のある疑問文。名詞の前の a を忘れないようにしましょう。

まとめのテスト②

P.30・31

- 1 ① 1 ウ 2 ア 3 ア
4 ア

考え方 ① 1 主語がYouのときのbe動詞はare。「あなたはニューヨークの出身です」
2 主語がHeのときのbe動詞はis。「彼は私の兄〔弟〕です」
3 「～も」の意味を表すのはtoo。twoは「2」。eitherは否定文に使う。「これは地図です。あれも地図です」
4 doやdon'tだと動詞がない文になってしまう。「これは私の家ではありません」

- 2 ① 1 私はあなたの英語の先生ではありません。私はあなたの音楽の先生です。
2 あなたは毎日どんな本を読みますか〔読んでいますか〕。
3 あなたは毎日この公園へ来るのですか、それともあの公園へ行くのですか。

考え方 ① 1 第1文はI amの否定文になる。
2 Whatはbookの前について形容詞の働きをして「どんな～、何の～」の意味を表す。動詞readの目的語がWhat bookになる。
3 一般動詞のorの疑問文。

- 3 ① 1 or / It's 2 Are / am
3 she is 4 What / have

考え方 ① 答えの文や主語などに注目して考えてみよう。それぞれ次の意味になる。
1 「あれは犬ですか、それともネコですか」―「(それは)ネコです」
2 「あなたはフットボールの選手ですか」―「はい、そうです」
3 「中村さんは大学生ですか」―「はい、そうです」
4 「あなたはかばんに何を持っていますか」―「私は本を持っています」

- 4 ① 1 That is not [That isn't / That's not] my watch.
2 What do you see in this picture?
3 What sport do you like?
4 Who is [Who's] this student?

考え方 ① 1 否定文はbe動詞isのあとにnotを入れる。「あれは私の時計ではありません」
2 下線部は人間ではないのでWhoは使えない。「あなたはこの絵〔写真〕の中に何が見えますか」という文を作る。
3 「私は野球が好きです」→「あなたはどんなスポーツが好きですか」と考える。
4 下線部は人を表しているの、「この学生はだれですか」という文を作る。

- 5 ① 1 I don't have a book in my hand.

2 What do you use in that room?

考え方 ① 1 don'tがあるので、一般動詞の否定文だとわかる。「私は手に本を持っていません」
2 Whatで始まる一般動詞の疑問文になる。「あなたはあの部屋で何を使いますか」

- 6 ① 1 What food do you like? — I like sushi.

2 I do not [don't] like this flower. I do not [don't] like that flower(,) either.

3 What do you do in this room?
— I study.

考え方 ① 1 答えの日本語では主語が省略されているが、英語の文では省略しないように。
2 第2文も主語は省略されているが、やはり英語では省略してはいけない。
3 doには否定文や疑問文を作るときに使う以外に、ふつうの一般動詞として「～する」の意味がある。

セクション 4-1 形容詞と冠詞①

ポイント確認ドリル

P.33

- 1 ① (1) new (2) tall (3) busy

考え方 ① (1) 「新しい」はnew。形容詞が名詞の前につく形。
(2) 「背の高い」はtall。これも形容詞が名詞の前につく形。
(3) 「忙しい」はbusy。形容詞がbe動詞(is)のあとに続く形。

- 2 ① (1) an (2) new

考え方 ① (1) 「私は古い車を持っています」 old

が母音 (old) で始まっているので an。
 (2) 「この自転車は新しい」 be 動詞のあとに形容詞がきて主語を説明するとき a や an は必要ない。

- 3** 答 (1) This is an old book.
 (2) This book is old.

考え方 (1) 「これは～です」は This is ～。(an + 形容詞 (old) + 名詞 (book)) の語順。
 (2) 「この～」は this ～。このときの this は形容詞の働きをする。

P.34・35

- 1** 答 (1) a new (2) That, beautiful

考え方 (1) a は形容詞の前で <a + 形容詞 + 名詞> の語順になる。
 (2) 「あの～」は名詞の前について、ここでは That park が文の主語になっていることに注意。

- 2** 答 (1) busy (2) interesting
 (3) very (4) difficult

考え方 内容を考え、自然な文になるようにする。
 (1) 「お母さんは台所で忙しい」
 (2) 「これはおもしろい本です」 difficult もよさそうだが、空所の前に an があるので、母音で始まる interesting にする。
 (3) 「私の兄〔弟〕はとても背が高い」 この空所には、形容詞の意味を強める副詞の very が入る。
 (4) 「あれは難しい質問です」

- 3** 答 (1) pencil, long (2) is a

考え方 (1) 上の文の This は主語になる代名詞で、下の文の This は pencil を修飾する形容詞になる。
 (2) 「あの花は美しい」→「あれは美しい花です」

- 4** 答 (1) 私は小さい犬を飼っていますが、あなたの犬はとても大きい。
 (2) 私たちの新しい先生は親切〔やさしい〕です。彼女はとても人気があります。

考え方 (1) この文の have は「(動物などを)飼う」の意味。very は big の意味を強める副詞である。
 (2) kind, popular ともにここでは be 動

詞のあとに使われている。

- 5** 答 (1) This park is very large.
 (2) I have a long pencil.
 (3) That is my new car.
 (4) This is a very tall building.

考え方 (1) be 動詞のあとに形容詞が続く形では、a [an] は不要。a [an] は名詞につくものである。「この公園はとても広い」
 (2) <a + 形容詞 (long) + 名詞 (pencil)> の語順。「私は長いえんぴつを持っています」
 (3) <所有格 (my) + 形容詞 (new) + 名詞 (car)> の語順。「あれは私の新しい車です」
 (4) <a + very + 形容詞 (tall) + 名詞 (building)> の語順。「これはとても高い建物です」

- 6** 答 (1) He is my new friend.
 (2) English is not difficult.
 (3) Is this book difficult?
 (4) My new teacher is very kind.

考え方 (1) まず主語になるものを探す。my new friend の語順に注意しておこう。
 (2) English is difficult. を否定文にしたもの。is のあとに not を入れる。
 (3) This book is difficult. を疑問文にしたもの。is を主語の this book の前に。
 (4) <所有格 (My) + 形容詞 (new) + 名詞 (teacher)> の語順になり、この部分が文の主語になる。

セクション **4-2** 形容詞と冠詞②

▶▶ ポイント確認ドリル P.37

- 1** 答 (1) a (2) an (3) an (4) a

考え方 次にくる語が子音^{しおん}で始まっていれば a を、母音で始まっていれば an を使う。
 (1) 「私はネコを飼っています」
 (2) 「私は手にリンゴを持っています」
 (3) 「これは古いコンピュータです」
 (4) 「私は新しいコンピュータがほしい」

- 2** 答 (1) ... play ^ piano ...
 (2) ... play ^ guitar ...
 (3) ... like ^ dog ...
 (4) ... like ^ book ...

考え方 ① (1) 「私は毎日ピアノを弾きます」 楽器の前には the。
 (2) 「あなたは毎日ギターを弾きますか」
 (3) 「私は犬を飼っています。私はその犬が大好きです」
 (4) 「これは彼の新しい本です。私はその本があまり好きではありません」 not ~ very で「あまり～ない」の意味。

3 **答** (1) This is an interesting book.
 (2) I play the violin every day.

考え方 ① (1) 形容詞 interesting が母音で始まっているので、an を使うことに注意。
 (2) 楽器の前には the。

P.38・39

1 **答** (1) an (2) × (3) ×
 (4) the (5) a, a (6) ×

考え方 ① (1) old は母音で始まっている。「私には年長いた祖父がいます」
 (2) 所有格の前後に冠詞はつかない。「トムは私の新しい友だちです」
 (3) スポーツ名には何もつけない。「私はフットボールはしません」
 (4) 楽器の前には the をつける。「あなたは学校でフルートを演奏しますか」
 (5) どちらも「1人の」の意味の語が必要。「私には(1人の)兄[弟]と、(1人の)姉[妹]がいます」
 (6) English や math(数学), science(理科)などの教科名には何もつけない。「私は毎日英語を勉強します」

2 **答** (1) a, interesting (2) the piano
 (3) the morning (4) The, the

考え方 ① (1) interesting の前に very がついたために an ではなく a を使う。
 (2) 楽器の piano の前には the。
 (3) 「午前[午後/夕方]に」は、in the morning[afternoon / evening]になる。
 (4) 世の中でたった1つのものには the。

3 **答** (1) 私はその有名な歌手をととてもよく知っています。
 (2) 私は夕方は忙しくありません。

考え方 ① (2) in the evening(夕方に)はまとめて覚えておこう。

4 **答** (1) I have a yellow pencil.
 (2) I study English in the afternoon.
 (3) This is an old camera.
 (4) That is a new house.

考え方 ① (1) an → a。「私は黄色いえんぴつを持っています」
 (2) an → the。「私は午後に英語を勉強します」
 (3) old の前には a ではなく an。「これは古いカメラです」
 (4) new house の前に a が必要になる。「あれは新しい家です」

5 **答** (1) He is an English teacher.
 (2) Do you know the English word?
 (3) Is that an orange or an apple?
 (4) I have a watch. The watch is new.

考え方 ① (1) 主語になるのは he。English は「英語の」の意味の形容詞として使う。
 (2) 「その」は the。この文の English も形容詞としての用法。
 (3) Is that A or B? の疑問文になる。A, B にくる語はここではどちらも母音で始まっているので、どちらにも an をつける。
 (4) watch には第1文では a が、第2文では「その」の the がつくことを確認。

セクション **5-1** 複数の文①

▶▶ ポイント確認ドリル

P.41

1 **答** (1) book (2) two
 (3) apples (4) balls

考え方 ① (1) a があるから単数形。「私は手に本を持っています」
 (2) books と複数形なので two。「私はおもしろい本を2冊持っています」
 (3) three とあるので複数形。「私は両手に大きなリンゴを3こ持っています」なお、hands と複数形になっているので「両手」としていることにも注意。
 (4) five とあるので複数形。「私は新しいボールが5こほしい」

2 **答** (1) pens (2) boxes (3) apples
 (4) dishes (5) cities (6) men
 (7) buses (8) dictionaries

考え方 ① (1)・(3) そのまま s をつける。
 (2)・(4)・(7) es をつける。
 (5)・(8) y を i にかえて es をつける。
 (6) 不規則に変化する。

3 **答** (1) I have two brothers.
 (2) I don't have any brothers.

考え方 ① (1) two のあとに複数形が続いている。
 (2) 否定文の any である。ここでも複数形が続いていることに注意。

P.42・43

1 **答** (1) computers (2) children
 (3) any (4) books

考え方 ① (1) computer を複数形にする。「私はたいてい2台のコンピュータを使います」
 (2) child の複数形は children。「向こうにたくさんの子どもが見えます」
 (3) 否定文なので any を使う。「私には兄弟がひとりもいません」なお、疑問文でも some を使うことがある。この場合は、相手に何かを勧めたりして Yes の返答を期待するときである。
 (4) How many のあとには、名詞の複数形が続く。「あなたは本を何冊持っていますか」

2 **答** (1) × (2) ○ (3) ○
 (4) ○

考え方 ① (1) [s] と [z]。 (2) どちらも [z]。
 (3) どちらも [s]。 (4) どちらも [iz]。

3 **答** (1) any / any (2) many / have

考え方 ① (1) 「あなたは(何匹か)ペットを飼っていますか」—「いいえ、飼っていません。私は(1匹も)ペットを飼っていません」最初の any は疑問文に、答えの any は否定文に使われている。
 (2) 数をたずねるのは〈How many + 名詞の複数形 ~?〉の形になる。なお、many は単独では「たくさんの」の意味を表すことも覚えておこう。

4 **答** (1) あなたには兄弟が2人いますが、私にはひとりもいません。
 (2) 私はアメリカにたくさんの友だちがいます。
 (3) あなたは学校で何人の生徒に教えていますか。

考え方 ① (1) 後半は否定文の any。
 (2) a lot of ~ は「たくさんの~」の意味で、many と同じ。
 (3) How many students が teach の目的語になっている。

5 **答** (1) I see three leaves on the table.

(2) I do not[don't] know any interesting stories.

(3) Do you know any Japanese words?

(4) How many rackets do you use?

考え方 ① (1) leaf の複数形は leaves。「テーブルの上に3枚の葉が見えます」
 (2) 否定文なので some を any に。「私はおもしろい物語をひとつも知りません」
 (3) 疑問文なので some を any に。「あなたは何か日本語の単語を知っていますか」
 (4) 下線部は数を表しているので、How many の疑問文にする。「あなたはラケットを何本使いますか」

6 **答** (1) I have some new books.

(2) I don't have any sisters.

(3) Do you like cats? — Yes, I do.

(4) How many stamps do you have?
 — I have eighty [80] (stamps).

考え方 ① (1) 〈some + 形容詞(new) + 名詞(books)〉の語順にも注意。
 (2) 否定文に any が使われている。
 (3) 一般に「好き、きらい」と言うときは目的語を複数形にする。
 (4) 複数の文では、数を表す語がよく使われるので、数を英語で言えるように。

セクション **5-2** 複数の文②

▶▶▶ ポイント確認ドリル P.45

1 **答** (1) am (2) is (3) are
 (4) are (5) are (6) are

考え方 ① それぞれの主語に合った be 動詞を選ぶ。
 (1) 「私は学生です」
 (2) 「彼は学校の先生です」
 (3) 「私たちは高校生です」
 (4) 「彼(女)らは私の昔からの友人です」
 (5) 「ケンとボブはアメリカの出身です」

Ken and Bob を代名詞で表すと They になることから考えてみよう。

(6) 「あなたと私は仲のよい友だちです」
You and I を代名詞にすると We になることから考えてみよう。

2 答 (1) they (2) we

考え方 (1) 「これらはあなたのえんぴつですか」
—「はい、そうです」 質問の文の these や those は答えの文では they になる。
(2) 「あなたたちは英語の先生ですか」
—「はい、そうです」 「あなたたちは」は答えの文では「私たちは」になることに注意。you は「あなたは」「あなたたちは」の両方の意味に使われるが、その区別は名詞があれば複数形になる。名詞がない場合は、前後関係などから判断する。

3 答 (1) Those are my dogs.
(2) They are not my friends.

考え方 (1) 主語が Those になる。
(2) They are my friends. の否定文。

P.46・47

1 答 (1) and (2) These books

考え方 (1) 「～と…」は and。語だけでなく、語句と語句、文と文をつなげる働きもする。
(2) <(these[those]+名詞の複数形)の形。

2 答 (1) are (2) We (3) Do
(4) not

考え方 (1) 主語が複数(Those boys)の文。
(2) 選択肢の中で主語になれるのは we だけ。文頭にくるので大文字にする。
(3) teach が一般動詞なので、一般動詞の疑問文になる。
(4) be 動詞の否定文。be 動詞のあとに not を置く。

3 答 (1) These pictures
(2) Those, books

考え方 (1) 下の文では主語が These pictures になる。
(2) 「あれらの本はとても古い」→「あれらはとても古い本です」

4 答 (1) あなたたちは音楽の先生ではありません。あなたたちは理科の先生です。
(2) あれらの[あの]2つの建物は銀行と郵便

局です。

考え方 (1) 第1文は否定文。あとに続く名詞が teachers と複数形なので You は「あなたたちは」の意味になる。
(2) be 動詞のあとに～ and ... が続いていることにも注意。

5 答 (1) These are interesting stories.
(2) We are college students.
(3) Who are those boys?
(4) What are these?

考え方 (1) This → These, is → are, an → 不要, story → stories。「これらはおもしろい物語です」
(2) I → We, am → are, a → 不要, student → students。「私たちは大学生です」
(3) 下線部は人なので who の疑問文に。Who のあとは疑問文の語順になる。
(4) 下線部は物なので what の疑問文に。

6 答 (1) These are very pretty flowers. / These flowers are very pretty.
(2) They are not my friends.
(3) We are not [We aren't / We're not] busy now.
(4) Who are those girls? — They are [They're] my sisters.

考え方 (1) 解答の最初は These が主語で、2つ目は These flowers が主語になる。「これらはとてもかわいい花です」「これらの花はとてもかわいい」
(2) 主語は They になる。「彼らは私の友だちではありません」
(3) We are busy now. を否定文にしたもの。
(4) 質問の文の those girls は答えの文では They で受けることに注意。

セクション **6**-1 likes, has などの文①

▶▶ ポイント確認ドリル P.49

1 答 (1) We (2) He (3) Tom
(4) brothers

考え方 主語が he, she, it およびこれらに置きかえることができる場合には、動詞に s や es がつくことをまず確認しておこう。

- (1) 主語がKenだと動詞はgoesになる。「私たちは毎日学校へ行きます」
 (2) likesとあるので主語はHe。「彼は日本の食べ物が好きです」
 (3) playsとあるので主語はTom。「トムは上手にテニスをします」
 (4) 動詞がuseとsがついていないので、主語は複数のbrothersになる。「私の兄弟たちは上手にコンピュータを使います」

2 答 (1) plays (2) cooks
 (3) watches (4) studies

考え方 ① 主語がhe, she, itおよびこれらに置きかえることができる場合には、動詞にsやesをつける。

- (1) 「健は毎日野球をします」 sだけをつける。
 (2) 「母はとても上手に料理をします」 sだけをつける。
 (3) 「私の姉(妹)は毎日テレビを見ます」 esをつける。
 (4) 「由美は熱心に数学を勉強します」 yをiにかえてesをつける。

3 答 (1) Ms. Hara likes English very much.
 (2) Tom has a big dog.

考え方 ① 主語はどちらも3人称・単数になることに注意。
 (1) likesが動詞で、Englishが目的語。
 (2) hasが動詞で、a big dogが目的語。

P.50・51

1 答 (1) like (2) lives
 (3) walks (4) watches

考え方 ① (1) 主語が複数なので、動詞にsはつかない。「トムとボブはリンゴが好きです」
 (2) 動詞にsをつける。「山本さんは札幌に住んでいます」
 (3) 動詞にsをつける。「真由美は毎日歩いて学校へ行きます[徒歩通学しています]」
 (4) watchにはsではなく、esをつける。「健は野球の試合を見ます」

2 答 (1) ○ (2) ○ (3) ○

(4) ×

考え方 ① (1) どちらも[s]。 (2) どちらも[z]。
 (3) どちらも[iz]。 (4) [s]と[z]。

3 答 (1) has (2) studies
 (3) goes (4) teaches
 (5) has

考え方 ① 主語はいずれも3人称・単数。
 (1) haveはhasに。「トムは大きなリングを持っています」
 (2) studyはstudiesに。「彼女は毎日英語を勉強します」
 (3) goはgoesに。「私の兄(弟)は高校へ通っています」
 (4) teachはteachesに。「山田先生は英語を教えています」
 (5) 「私の母は英語の本をたくさん持っています」

4 答 (1) 私はその男の人を知りませんが、彼は私の先生について知っています。
 (2) 林さんは3か国語か4か国語を話します。

考え方 ① (1) 後半の文の主語は3人称・単数。
 (2) 「3か国語か4か国語」は「3～4か国語」としてもよい。

5 答 (1) My sister uses this desk.
 (2) The girl helps the old man.
 (3) He needs a big dictionary.
 (4) Kim speaks English at school.

考え方 ① いずれも主語は3人称・単数になる。
 (1) 「私の姉(妹)はこの机を使っています」
 (2) 「その少女は、その老人の手助けをします」
 (3) 「彼は大きな辞書を必要としています」
 (4) 「キムは学校で英語を話します」

6 答 (1) Nancy plays the piano every day.
 (2) Tom has a lot of friends.
 (3) My mother [mom] speaks English well.
 (4) He has three children.

考え方 ① (1) 主語はNancy、動詞はplays。楽器の前のtheにも注意しておこう。
 (2) 主語はTom、動詞はhas。「トムには友だちがたくさんいます」

- (3) My mother は She に置きかえられるので、3人称・単数。
 (4) 「子どもがいる」→「子どもを持っている」と考える。

セクション **6-2 likes, has などの文②**

▶▶ ポイント確認ドリル P.53

- 1** 答 (1) do (2) does
 (3) Do (4) Does

- 考え方①** 否定文や疑問文で does を使うのは、主語が3人称・単数のときである。
 (1) 主語は1人称・単数。「私はテニスが好きではありません」
 (2) He は3人称・単数。「彼はテニスが好きではありません」
 (3) You は2人称・単数(または複数)。「あなた(たち)は野球をしますか」
 (4) 「彼は野球をしますか」

- 2** 答 (1) Yes (2) Yes (3) No

- 考え方①** Does の疑問文には、〈Yes, 主語+does.〉か〈No, 主語+does not [doesn't].〉で答える。
 (1) 「彼はコンピュータを使いますか」—「はい、使います」
 (2) 「彼女は学校へ行ってますか」—「はい、行ってます」
 (3) 「健はリングが好きですか」—「いいえ、好きではありません」

- 3** 答 (1) He does not like my dog.
 (2) Does he speak English well?

- 考え方①** (1) 〈主語+does not+動詞の原形 ~.〉にあてはめて考える。
 (2) 〈Does+主語+動詞の原形 ~?〉にあてはめて考える。

P.54・55

- 1** 答 (1) does (2) does (3) do
 (4) does, study

- 考え方①** (1) He は3人称・単数で、否定文は〈does not+動詞の原形〉の形になる。
 (2) Ms. Yamada は She に置きかえることができる。
 (3) Ken and Bob は2人になるので、3人称・単数ではない。Ken and Bob は

- They に置きかえられる。
 (4) My sister は She に置きかえられる。does not のあとには原形が続くことに注意する。

- 2** 答 (1) Does / Yes
 (2) Does / she does
 (3) Does / doesn't
 (4) many / has

- 考え方①** (1) 「彼には(何人か)兄弟がいますか」—「はい、います。2人います」
 (2) 「あなたのお姉(妹)さんは毎日勉強しますか」—「はい、します」
 (3) 「金子さんはネコや犬が好きですか」—「いいえ、好きではありません」
 (4) 「あなたのお父さんは本を何冊持っていますか」—「彼は約300冊の本を持っています」

- 3** 答 (1) イ (2) エ (3) ア
 (4) ウ

- 考え方①** (1) 「だれが毎日サッカーをしますか」—「私の兄(弟)がします」
 (2) 「あなたのお兄(弟)さんは毎日サッカーをしますか」—「はい、します」
 (3) 「あなたのお兄(弟)さんは毎日何をしますか」—「彼はサッカーをします」
 (4) 「あなたはときどきサッカーをしますか」—「はい、します」

- 4** 答 (1) Tom does not [doesn't] have a Japanese car.
 (2) Mr. Saito does not [doesn't] teach English.
 (3) Does your brother want a new bike?
 (4) How many books does he read every month?
 (5) What does she play every day?
 (6) Who teaches English?

- 考え方①** (1) does not [doesn't] のあとには原形の have がくる。「トムは日本車を持っていません」
 (2) 原形の teach を使う。「斉藤先生は英語を教えていません」
 (3) 〈Does+主語+動詞の原形 ~?〉にあ

てはめて考える。「あなたのお兄[弟]さんは新しい自転車をほしいと思っていますか」

(4) 下線部は数を表しているの、(How many + 名詞の複数形 + does + 主語 + 動詞の原形 ~?) の形になる。「彼は毎月何冊の本を読みますか」

(5) 下線部は「物」で、動詞の目的語にあたるので、What で始まる疑問文にする。「彼女は毎日何を弾きますか」

(6) 下線部は「人」で、主語になっているので Who で始まる疑問文にする。この Who は主語になっていることに注意する。Who は 3 人称・単数扱いにするので、動詞は -s, -es のついた形になる。「だれが英語を教えてくださいか」

5 **答** (1) **Tadashi does not [doesn't] have any brothers.**

(2) **Does your father speak English? — Yes, he does.**

考え方 (1) any brothers の代わりに a brother としてもよい。
(2) Does の疑問文には does を使って答えることを確認しておこう。

セクション 7 代名詞と Whose ~?

ポイント確認ドリル P.57

1 **答** (1) **him** (2) **Our** (3) **mother's**
(4) **mine**

考え方 (1) 動詞の目的語になる目的格。「私は彼が大好きです」
(2) 名詞が続いているので所有格。「私たちの先生はとても親切です」
(3) 人の名前や名詞の所有格を作るには <s> を使う。「これは私の母のバッグです」
(4) あとに名詞がないので所有代名詞。「あの大きなリングは私のものです」

2 **答** (1) **her** (2) **yours** (3) **Its**
(4) **them**

考え方 (1) 動詞の目的語になる目的格。「あなたは彼女を知っていますか」
(2) 所有代名詞。「このかさはあなたのものですか」

(3) it の所有格の its. it is の短縮形 it's と区別する。「私は犬を飼っています。その[犬の]鼻はとても大きい」

(4) 動詞の目的語になる目的格。「私は彼(女)らが大好きです」

3 **答** (1) **Whose book is this?**

(2) **Whose is this book?**

考え方 (1) whose は所有格の働き。
(2) whose は所有代名詞の働き。

P.58・59

1 **答** (1) **mine** (2) **her** (3) **Whose**
(4) **It's**

考え方 (1) 「これはあなたの自転車ですか」— 「はい。それは私のものです」
(2) 「このノートは彼のですか彼女のですか」— 「それは彼のものではありません。彼女のノートです」
(3) 「あれはだれの自転車ですか」— 「私の姉[妹]のです」
(4) 「これはだれの辞書ですか」— 「それはあなたのです」

2 **答** (1) **ours** (2) **their** (3) **his**
(4) **mine**

考え方 所有格か所有代名詞かに注意する。
(1) we (主格)— our (所有格)— us (目的格)— ours (所有代名詞)。
(2) they — their — them — theirs。
(3) he — his — him — his。
(4) I — my — me — mine。

3 **答** (1) **ウ** (2) **ア** (3) **エ**
(4) **イ**

考え方 (1) 「これはだれの机ですか」— 「それは彼女のです」
(2) 「あれらはだれのえんぴつですか」— 「それらは私のです」
(3) 「あなたはだれのカメラを使いますか」— 「私は健のカメラを使います」
(4) 「あなたはだれの絵[写真]が好きですか」— 「私はトムの絵[写真]が好きです」

4 **答** (1) **They like you.**
(2) **Whose guitar is this?**
(3) **Whose racket does he use?**
(4) **Whose albums are these?**

考え方 ① (1) 「トムとベンは」→「彼らは」, 「あなたと真美を」→「あなたたちを」
 (2)・(3) 〈Whose+名詞〉のあとは疑問文の語順にする。
 (4) albums と複数形なので, 主語やそれに合う be 動詞も複数形のものを使う。

5 **答** (1) This watch is not mine.
 (2) Whose sister is that girl?
 (3) I do not [don't] know him. I do not [don't] know her(,) either.
 (4) Whose stamps are these? — They are[They're] my brother's.

考え方 ① (1) This watch is mine. の否定文。
 (2) Whose の次に名詞が続く用法。
 (3) 否定文の「も」には either を使う。
 (4) 主語は複数になる。答えの文では, these は they になる。

まとめのテスト③ P.60・61

1 **答** 1 イ 2 イ 3 ア
 4 ア 5 イ 6 イ

考え方 ① 1 English が母音で始まっているので an。「私は英語の教師です」
 2 He は 3 人称・単数。「彼には何人が新しい友だちがいます」
 3 a lot of は複数を表す語句。「私は英語の本をたくさん持っています」
 4 あとに名詞が続いているので所有格。「これは私たちの学校です」
 5 study は y を i にかえて es。「私の姉[妹]はとても熱心に英語を勉強します」
 6 You and I は複数になる。「あなたと私は中学生です」

2 **答** 1 あなたたちはアメリカ人ですか, それともカナダ人ですか。 — 私たちはカナダ人です。
 2 このえんぴつはあなたのものですか, それとも私のものですか。 — それは私のものです。あのえんぴつ[あれ]も私のものです。

考え方 ① 1 質問の文の you は, 答えの文で we で答えているから, 「あなたたち」の意味。
 2 one は pencil のこと。

3 **答** 1 How / have 2 What / has

3 Are / they **4** Whose / It's

考え方 ① 1 「あなたは辞書を何冊持っていますか」—「3冊持っています」
 2 「彼は(両)手に何を持っていますか」—「英語の本を何冊か持っています」
 3 「あの少年たちは博と正ですか」—「はい, (彼らは)そうです」
 4 「これはだれのグローブですか」—「それは私のグローブです」

4 **答** 1 The tall girls are not[aren't] my friends.
 2 My brother washes the car every day.
 3 Do you have any albums?
 4 What does he have in his pocket?

考え方 ① 1 be 動詞の否定文は be 動詞のあとに not。「その背の高い少女たちは私の友だちではありません」
 2 wash には es をつける。「私の兄[弟]は毎日その車を洗います」
 3 some は疑問文ではふつう any にかえる。「あなたは(何冊か)アルバムを持っていますか」
 4 下線部は物なので, what の疑問文にする。「彼はポケットに何を持っていますか」

5 **答** 1 You have some interesting stamps.
 2 Does your father speak English?

考え方 ① 1 主格の you と, 肯定文の some に注意。「あなたは興味深い切手を何枚か持っています」
 2 主語が 3 人称・単数の疑問文。「あなたのお父さんは英語を話しますか」

6 **答** 1 These boys are not[aren't] my brothers.
 2 Are you from Japan(,)too? — Yes, we are.
 3 Whose dog is this? — It's[It is] hers.

考え方 ① 1 主語は複数になる。
 2 「あなたたちは」は答えの文では「私たちは」になる。

3 (Whose+名詞)のあとに疑問文の語順を続ける。

まとめのテスト④ P.62・63

1 ① 答 1 ア 2 イ 3 イ
4 イ 5 イ 6 イ

① 1 肯定文には some。「私は仲のよい友だちが何人かいます」
2 動詞の目的語になる目的格。「私は彼をととてもよく知っています」
3 楽器の前にはふつう the。「私は毎日ギターを弾きます」
4 主語は 3 人称・単数。「その少年は私の両親を知りません」
5 are や cameras から主語は複数を表すもの。「これらは私のカメラです」
6 ア (複数形)だとおもちゃそのものが姉[妹]たちになってしまう。「これらのおもちゃは私の姉[妹]のものです」

2 ① 答 1 あなたには兄弟が 2 人いますが、私にはひとりもいません。
2 彼には兄弟姉妹が何人いますか。—— (彼には)兄弟が 2 人います。

① 1 否定文の any に注意しておこう。
2 数をたずねる疑問文の主語が 3 人称・単数になっている。

3 ① 答 1 Does / Yes
2 Are / they aren't [they're not]
3 Is / she is 4 Are / they

① 1 「あなたのお姉[妹]さんは学校へ行ってますか」—「はい、行ってます」
2 「彼らは上手な野球の選手ですか」—「いいえ、そうではありません」
3 「この少女はあなたのお姉[妹]さんですか」—「はい、そうです」
4 「トムとボブは仲のよい友だちですか」—「はい、そうです」

4 ① 答 1 I do not [don't] see any birds in this picture.
2 How many languages do they speak in this country?
3 Whose bags are these?
4 Tom does not [doesn't] watch TV in

the morning.

① 1 some を any にかえるのを忘れないように。「私はこの絵[写真]の中に鳥が一羽も見えません」
2 下線部は数を表している。なお、この文の they はこの国の「人々」を表している。「この国の人々は何か国語を話しますか」
3 所有者をたずねる文にする。「これらはだれのかばんですか」
4 主語は 3 人称・単数。「トムは午前中テレビを見ません」

5 ① 答 1 Are they English teachers?
2 These dictionaries are not ours.

① 1 ? があるので疑問文に。「彼らは英語の先生ですか」
2 ours のあとには名詞が続かないので、These are not ... とはできない。「これらの辞書は私たちのものではありません」

6 ① 答 1 How many pencils do you have? — I have ten (pencils).
2 Does he speak English and French? — Yes, he does.
3 I do not [don't] like her. She does not [doesn't] like me (,) either.

① 1 答えの文の数のあとの名詞は省略してもよい。
2 主語は 3 人称・単数。
3 第 2 文は否定文の「も」である。

セクション 8 命令文

ポイント確認ドリル P.65

1 ① 答 (1) Open (2) listen
(3) read (4) go

① 1 命令文は動詞の原形で始める。「トム、本を開きなさい」
2 ていねいな命令文。「私の話を聞いてください」
3 禁止の命令文。「この本を読んではいけません」
4 誘う言い方。Let's のあとに動詞の原形を続ける。「公園へ行きましょう」

- 2** 答 (1) あのコンピュータを使いなさい。
(2) このコンピュータを使ってはいけません
[使うな]。

考え方 ① (1) ふつうの命令文。
(2) 禁止の命令文。

- 3** 答 (1) **Let's play soccer in the park.**
(2) **Don't open the windows.**

考え方 ① (1) Let's のあとに動詞の原形が続く。
(2) Don't のあとに動詞の原形が続く。

P.66・67

- 1** 答 (1) **Read** (2) **Don't**
(3) **play** (4) **Don't**

考え方 ① (1) 動詞の原形に。「この手紙を読んで
ください」
(2) 〈Don't+動詞の原形〉の形に。「この
公園で野球をしてはいけません」
(3) 「午後テニスをしましょう」
(4) 「本を開いてはいけません」

- 2** 答 (1) **Let's** (2) **right** (3) **let's**

考え方 ① (1) 答えの文の let's に注目する。
(2) All right. や O.K. がよく使われる。
(3) 断るときの表現になる。

- 3** 答 (1) **Don't, please** (2) **Let's play**

考え方 ① (1) 禁止の命令文。文末に please。
(2) 誘うのは Let's ~。

- 4** 答 (1) 今日ここに来てはいけません。明日
ここに来なさい。
(2) あなたのまわりの人たちに親切にしてく
ださい。

考え方 ① (1) 第1文は禁止の命令文。第2文はふ
つうの命令文。
(2) ていねいな命令文。kind が形容詞
なので、Be で始まっている。

- 5** 答 (1) **Let's sing the song.**
(2) **Write your name.**
(3) **Don't walk fast.**
(4) **Let's look at the map.**

考え方 ① (1)・(4) Let's のあとに動詞の原形を続
ける。「その歌を歌いましょう」
(2) 「あなたの名前を書きなさい」
(3) 「速く歩かないで」 Don't のあとに
動詞の原形を続ける。

- 6** 答 (1) **Let's listen to the music.**

- (2) **Don't read this book, please.**
(3) **Don't speak Japanese in this room.**
(4) **Let's play tennis after school.** —
Yes, let's. [All right. / O.K.]

考え方 ① (1) 「その音楽を聞きましょう」
(2) 「この本を読まないでください」 コ
ンマがあるので、please は文末に置く。
(3) 禁止の命令文になる。
(4) 誘う言い方になる。

セクション 9-1 時刻などの言い方①

▶▶ ポイント確認ドリル P.69

- 1** 答 (1) **eleven** (2) **three fifteen**
(3) **nine twenty** (4) **five thirty**
(5) **twelve forty**

考え方 ① ちょうどの時刻は〈数字(+o'clock)〉、「~
時…分」の時刻は~と…の数字を順に並
べる。(5)は forty のつづりに注意する。

- 2** 答 (1) **It** (2) **at** (3) **in**

考え方 ① (1) 時刻を表す文の主語は it。「日本で
は今7時です」
(2) 「~時に」の「に」には at を使う。「私
は毎日6時に起きます」
(3) 「午前[午後/夕方]に」は、in the
morning[afternoon / evening]。「私た
ちは朝の7時ごろに朝食を食べます」

- 3** 答 (1) **What time is it now?**
(2) **I go to bed at ten o'clock.**

考え方 ① (1) What time のあとは疑問文の語順。
(2) 時刻の前の at に注意する。

P.70・71

- 1** 答 (1) **It, just** (2) **It's, in**

考え方 ① (1) 「ちょうど」は just。
(2) It is の短縮形 It's を使う。

- 2** 答 (1) **ウ** (2) **エ** (3) **イ**
(4) **ア**

考え方 ① 答えの文の意味は次の通り。
ア「今は7時でも8時でもありません。9
時です」
イ「はい、そうです」
ウ「10時40分です」
エ「私は8時15分に家を出ます」

- 3** 答 (1) 私たちの学校は8時45分に始まります。

- (2) 私は毎日11時ごろに寝ます。
 (3) 私の父はたいてい8時ごろに帰宅します。

考え方 ① (1) 主語が3人称・単数である。
 (2) aboutの前のatはよく省略される。
 (3) usuallyの位置は一般動詞の前。

- 4** **答** (1) What time is it now?
 (2) What time do you get up?
 (3) What time does Tom leave for school?
 (4) Is it seven (o'clock) now?

考え方 ① (1) 「今5時です」→「今何時ですか」
 (2) 「6時30分に起きます」→「あなたは何時に起きますか」
 (3) 「トムは8時に学校へ出かけます」→「トムは何時に学校へ出かけますか」
 (4) 「いいえ、今7時ではありません。8時です」→「今7時ですか」

- 5** **答** (1) Do you have breakfast at seven o'clock?
 (2) It is six thirty in the evening.
 (3) Is it eight thirty in Japan now [now in Japan]? — Yes, it is.
 (4) What time do you go to bed? — I usually go to bed at eleven (o'clock).

考え方 ① (1) breakfastの前にはふつうaもtheもつけない。
 (2) in the eveningはまとめて覚える。
 (3) ふつうは場所を表す語句(in Japan)が時を表す語句(now)よりも先にくる。
 (4) 「寝る」の意味のgo to bedのbedの前には、aもtheもつかない。

セクション **9**-2 時刻などの言い方②

▶▶ ポイント確認ドリル P.73

- 1** **答** (順に) Monday, Thursday, Saturday

考え方 ① 曜日名, 月名, 序数などは基本中の基本なので正確に覚えておこう。

- 2** **答** (順に) March, May, July, September, November

- 3** **答** (順に) second, third, fifth, eighth, ninth

考え方 ① 序数にはまぎらわしいつづりのものがあるので、本書72ページの表で確認する。

- 4** **答** (1) What day is today?
 (2) What's the date today?

考え方 ① (1) 曜日をたずねる疑問文。
 (2) 日付をたずねる疑問文。

P.74・75

- 1** **答** (1) It (2) fifth
 (3) Wednesday (4) day

考え方 ① (1) 寒暖を表す文の主語はit。「今日はとても暑いです」
 (2) 序数に。「5月は1年のうちで5番目の月です」
 (3) 「水曜日は火曜日のすぐあとに来ます」
 (4) dateは「日付」の意味。「週の最初の曜日は日曜日です」

- 2** **答** (1) day (2) time (3) date

考え方 ① (1) 「今日は何曜日ですか」—「火曜日です」
 (2) 「今何時ですか」—「ちょうど11時です」
 (3) 「今日は何月何日ですか」—「1月20日です。私の誕生日です」

- 3** **答** (1) tenth, twentieth
 (2) April, October

考え方 ① (1) 序数が5つの間隔。
 (2) 月名が1つとび。

- 4** **答** (1) 今沖縄ではとても暑いです。
 (2) 今オーストラリアでは夏ですか、それとも冬ですか。

考え方 ① (1) 寒暖を表すit。
 (2) 季節を表すit。

- 5** **答** (1) What's [What is] the date today?
 (2) What day is (it) today?
 (3) May is the fifth month of the year.
 (4) Tomorrow is my twelfth birthday.

考え方 ① (1) What day of the month is (it) today? としてもよい。
 (2) What day of the week is (it) today? としてもよい。
 (3) 「5月は1年で5番目の月です」
 (4) 「明日は私の12回目の誕生日です」序数で「12番目の」はtwelfth。

- 6** **答** (1) It is not cold today.
 (2) Is it summer in your country?
 (3) What's [What is] the date today? / What day of the month is (it) today?

— It's [It is] June (the) ninth.
 (4) Is it warm in Tokyo now? —
 Yes, it is.

考え方 ① (1) 寒暖を表す文の否定文。
 (2) 季節を表す文の疑問文。
 (3) ninth のつづりに注意。なお、日にちの前に the をつけることもある。
 (4) 寒暖を表す文の疑問文。ふつう場所 (in Tokyo) を時 (now) よりも先に置く。

セクション **10-1** How や Wh- で始まる 疑問文①

▶▶ ポイント確認ドリル P.77

1 **答** (1) ウ (2) ア (3) ウ

考え方 ① (1) 「あなたは何歳ですか」—「私は11歳です」
 (2) 「あなたはどのようにして学校へ行きますか」—「私はバスで行きます」
 (3) 「お元気ですか[ご機嫌いかがですか]」—「元気です、ありがとう」

2 **答** (1) tall (2) How / about

考え方 ① 答えの文に注目してみよう。
 (1) 「あなたの身長はどれくらいですか」—「私は1メートル74センチです」
 (2) 「東京の夏の天気はどうですか」—「とても暑いです。あなたの町ではどうですか」—「こちらとても暑いです」

P.78・79

1 **答** (1) by (2) about (3) How (4) is

考え方 ① (1) 交通手段を表すのは by。「ここにはバスで来てください」
 (2) How about ~? で「~はどうですか」の意味。「私は犬が好きです。明美、あなたはどうですか」
 (3) 年齢をたずねるのは How old。「あなたのおじさんは何歳ですか」
 (4) 主語に合った be 動詞を使う。「あなたのお姉[妹]さんの身長はどれくらいですか」

2 **答** (1) by / to (2) How, do (3) How old (4) are / How

考え方 ① (1) 「あなたは自転車通学ですか」—「いいえ、そうではありません。徒歩通学で

す」 walk to ~で「~へ歩いて行く」
 (2) 「こちらは新しい友人のフレッドです」—「はじめまして、和子」。
 (3) 「あなたの弟さんは何歳ですか」—「3か月です。まだ生まれたばかりの赤ちゃんなんです」
 (4) 「今日のご機嫌はいかがですか」—「元気です、ありがとう。あなたはどうかですか」—「私も元気です、ありがとう」

3 **答** (1) ウ (2) イ (3) エ (4) ア

考え方 ① (1) 「歩きです」の交通手段。
 (2) 「ちょうど60歳です」の年齢。
 (3) 「ほんの70センチほどです」の身長。
 (4) 「いい天気です」の天候。

4 **答** (1) How old is Jane?
 (2) How does Tom go to school?
 (3) How many cars does Mr. Smith have?
 (4) How tall is Ms. Nakamura?

考え方 ① (1) 「ジェーンは何歳ですか」
 (2) 「トムはどうやって学校へ行きますか」
 (3) 「スミスさんは何台の車を持っていますか」
 (4) 「中村さんの身長はどれくらいですか」

5 **答** (1) How do you come to school?
 (2) I come to school by train.
 (3) How tall are you? — I am [I'm] 150 centimeters tall.
 (4) I like the teacher. How about you?

考え方 ① (1) How のあとに疑問文の語順を続ける。「~へ来る」は come to ~。
 (2) 交通手段を表すのは by。
 (3) 150 は数字でも英語でもよい。
 (4) 「~はどうですか」は How about ~? How の代わりに What も使われる。

セクション **10-2** How や Wh- で始まる 疑問文②

▶▶ ポイント確認ドリル P.81

1 **答** (1) Who (2) Which (3) Where (4) When (5) Whose

考え方 ① (1) 「あの少年はだれですか」
 (2) 「どちらがあなたの本ですか」
 (3) 「あなたの新しい自転車はどこですか」

- (4) 「あなたの誕生日はいつですか」
 (5) 「これはだれのペンですか」

- 2** 答 (1) Where (2) When
 (3) Which (4) Who

- 考え方** ① (1) 「あなたはどこに住んでいますか」—「大阪に住んでいます」
 (2) 「いつ泳ぎますか」—「夏に泳ぎます」
 (3) 「どちらがあなたの本ですか」—「こちらが私の本です」
 (4) 「だれがこの部屋をそうじしますか」—「私の姉(妹)がします」

- 3** 答 (1) Where do you swim?
 (2) Which is your bike?

- 考え方** ① (1) Where のあとは疑問文の語順に。
 (2) Which bike is yours? と同じ意味。

P.82・83

- 1** 答 (1) washes (2) is
 (3) pencils (4) does

- 考え方** ① (1) 「だれが毎日その車を洗いますか」
 (2) birthday は単数。「あなたのお母さんの誕生日はいつですか」
 (3) are these から複数の文と考える。「これらはだれのえんぴつですか」
 (4) 「彼はどこで英語を勉強しますか」

- 2** 答 (1) Which (2) Where
 (3) When / before (4) Whose

- 考え方** ① (1) 「どちらがあなたのえんぴつですか」—「この長いえんぴつが私のです」
 (2) 「あなたはどこでテニスをしますか」—「公園でテニスをします」
 (3) 「あなたはいつテレビを見ますか」—「夕食後にテレビを見ます。夕食前にテレビは見ません」
 (4) 「これはだれのノートですか」—「私のノートです」

- 3** 答 (1) イ (2) ウ (3) エ
 (4) ア

- 考え方** ① (1) 「だれがあの方に住んでいますか」—「ジェーンが住んでいます」
 (2) 「ジェーンはどこに住んでいますか」—「彼女はロンドンに住んでいます」
 (3) 「ジェーンはいつ自分の部屋をそうじしますか」—「毎日です」

- (4) 「どちらがジェーンの家ですか」—「あの大きな家です」

- 4** 答 (1) Which is your pen?
 (2) Where does Tom watch TV?
 (3) Who opens the windows every morning?
 (4) When do they do their homework?

- 考え方** ① (1) 「どちらがあなたのペンですか」
 (2) 「トムはどこでテレビを見ますか」
 (3) 「だれが毎朝窓を開けますか」
 (4) 「彼らはいつ宿題をしますか」 もとの文の do は一般動詞。疑問文の最初の do は疑問文を作るための do で、あとの do は一般動詞の do になる。

- 5** 答 (1) Which is your new house?
 (2) Where does your aunt live?
 (3) Who walks to school? — I do.
 (4) When does Jane help her mother?

- 考え方** ① (1) Which house で始めると、あとが is your new で正しい文ができない。
 (2) Where のあとは疑問文の語順に。
 (3) Who は 3 人称・単数扱い。
 (4) When のあとは疑問文の語順に。

セクション **11**-1 現在進行形の文①

▶▶ ポイント確認ドリル P.85

- 1** 答 (1) playing (2) helping
 (3) coming (4) studying
 (5) swimming (6) making
 (7) writing (8) running

- 考え方** ① (1)・(2)・(4) ing をつけるだけ。
 (3)・(6)・(7) e をとって ing。
 (5)・(8) 最後の子音字を重ねて ing。

- 2** 答 (1) am (2) are (3) We
 (4) He's

- 考え方** ① 主語と be 動詞の関係を考える。
 (1) 「私は野球の試合を見えています」
 (2) 「彼らはいっしょに公園を歩いています」
 (3) 「私たちは今その車を洗っています」
 (4) 「彼は今数学を勉強しています」

- 3** 答 (1) She is playing in the park.
 (2) I am not studying now.

- 考え方** ① (1) 〈主語+be動詞+〜ing〉にあてはめる。
(2) 否定文は be 動詞のあとに not。

P.86・87

- 1** **答** (1) **writing** (2) **I am [I'm]**
(3) **isn't [is not]** (4) **listening**

- 考え方** ① (1) write は writing になる。「トムは今手紙を書いています」
(2) I'm に be 動詞が含まれている。「私は今英語を勉強しています」
(3) helping があるので、現在進行形の否定文に。「彼は今お母さんを手伝っていません」
(4) are があるので、現在進行形に。「私たちは今音楽を聞いています」

- 2** **答** (1) **playing** (2) **reading**
(3) **sitting** (4) **cooking**

- 考え方** ① (1) 「私は今ギターを弾いています」
(2) 「彼は今雑誌を読んでいます」
(3) 「彼女は今いすにすわっています」
(4) 「彩は今昼食を料理しています」

- 3** **答** (1) **are running** (2) **not swimming**

- 考え方** ① (1) 主語が複数なので are。run は n を重ねる。
(2) 否定文は be 動詞のあとに not。

- 4** **答** (1) 私は毎日夕食後にテレビを見ます。
(2) 私は今居間でテレビを見ています〔見ているところです〕。

- 考え方** ① (2) 現在進行形の文。

- 5** **答** (1) **He is [He's] reading the story now.**
(2) **I am [I'm] doing my homework now.**
(3) **They are not [They aren't / They're not] studying English.**
(4) **Helen is not [isn't] making breakfast.**

- 考え方** ① (1) 「彼は今その物語を読んでいます」
(2) 「私は今宿題をしています」
(3) are のあとに not。「彼らは英語を勉強していません」
(4) is のあとに not。「ヘレンは朝食を作っていません」

- 6** **答** (1) **Tom is running very fast.**
(2) **I am not speaking Chinese.**
(3) **Jiro and Kazuko are walking in the park.**

- (4) **He is not [He isn't / He's not] laughing. He is [He's] crying.**

- 考え方** ① (1)・(2) まず主語と be 動詞を探す。
(3) 主語が複数で be 動詞は are を使う。
(4) laugh, cry とともに ing をつけるだけ。

セクション 11-2 現在進行形の文②

▶▶ ポイント確認ドリル

P.89

- 1** **答** (1) **Is** (2) **Are** (3) **Am**
(4) **Are**

- 考え方** ① 主語に合わせて be 動詞を使い分ける。
(1) 「彼女は自分の部屋でテレビを見ているのですか」
(2) 「あなたは夕食を料理していますか」
(3) 「私は歩いていますか、それとも走っていますか」
(4) 「彼らは今宿題をしていますか」

- 2** **答** (1) **Who** (2) **Where** (3) **What**
(4) **doing**

- 考え方** ① 疑問詞の意味を整理しておこう。
(1) 「大きな犬と歩いているのはだれですか」
(2) 「彼らはどこでサッカーをしていますか」
(3) 「あなたは何を書いていますか」
(4) 「あなたは何をしているところですか」 doing は一般動詞 do の ing 形。

- 3** **答** (1) **Are you running with Tom?**
(2) **What are you making?**

- 考え方** ① (1) 〈Are+主語+〜ing ...?〉にあてはめて考える。
(2) 疑問詞のあとは疑問文の語順にする。What は making の目的語になる。

P.90・91

- 1** **答** (1) **Are** (2) **are** (3) **doing**
(4) **Are**

- 考え方** ① (1) 主語は複数なので are を使う。「健と純子は海で泳いでいますか」
(2) they に合う be 動詞は are。「彼らはどこでテレビを見ていますか」
(3) do の ing 形は doing。「あなたはここで何をしているのですか」
(4) you に合う be 動詞は are。「あなた

は私(の言ってること)を聞いていますか」この表現は注意散漫な相手を非難するときによく使われる。

- 2** ① (1) I'm [We're] studying
(2) Is (3) we are
(4) Who / are / They're

考え方 ① (1) 「あなた(たち)は何を勉強しているところですか」—「私(たち)は数学を勉強しているところですよ」
(2) 「明美は台所で働いていますか」—「はい、働いています」
(3) 「あなたとお兄[弟]さんはお母さんを手伝っているところですか」—「はい、そうです」
(4) 「だれがプールで泳いでいますか」—「トムとジムです。彼らはとても速く泳いでいます」最後の空所には They are の短縮形が入る。

- 3** ① (1) イ (2) エ (3) ウ
(4) ア

考え方 ① (1) 「あなたは数学を勉強しているのですか、それとも英語を勉強しているのですか」—「私は数学を勉強しています」
(2) 「あなたはその CD を聞いているところですか」—「はい、そうです」
(3) 「あなたは何を食べているのですか」—「サンドイッチを食べています」
(4) 「あなたたちはどこで遊んでいますか」—「私たちは公園で遊んでいます」

- 4** ① (1) Are you singing an American song?
(2) Are they running in the garden?
(3) Who is [Who's] cooking in the kitchen?
(4) What is Tom doing?

考え方 ① (1) You are singing an American song. を疑問文にする。「あなたはアメリカの歌を歌っているのですか」
(2) They are running in the garden. を疑問文にする。「彼らは庭を走っているのですか」
(3) 下線部を「だれが」の意味の Who にして疑問文を作る。「だれが台所で料理

をしていますか」

(4) 「トムは何をしていますか」という文を作る。

- 5** ① (1) Are you watching TV now?
(2) What are you doing here?
(3) Is he doing his homework? — Yes, he is.
(4) What is he making? — He is [He's] making a doghouse.

考え方 ① (1) 現在進行形の疑問文。主語は you になるので、are で始まる疑問文になる。
(2) What で始まる現在進行形の疑問文になる。この表現は「そんなことはするな」と相手を非難するのにもよく使われる。
(3) He is doing his homework. を疑問文にする。
(4) What で始まる現在進行形の疑問文に。What のあとは疑問文の語順に。答えの文の主語は補って考えよう。

まとめのテスト⑤ P.92・93

- 1** ① 1 ア 2 イ 3 イ
4 イ 5 ア 6 イ

考え方 ① 1 命令文は動詞の原形で始める。「ここにあなたの名前を書きなさい」
2 天候を表す文の主語は it。「今日は晴れです」
3 am があるので現在進行形の文。「私は今英語を勉強しています」
4 ten は複数を表す。「私の妹[姉]は10歳です」
5 否定の命令文には Don't を使う。「そのドアを開けてはいけません」
6 時刻の前は at。「私は10時に寝ます」

- 2** ① 1 私の辞書にさわらないでください。
2 私はあの絵[写真]が好きです。あなたは
どうですか。

考え方 ① 1 ていねいな否定の命令文になる。
2 How about ~? で「~はどうですか」。

- 3** ① 1 How 2 day 3 time
4 Where

考え方 ① 1 「あなたはどのようにして学校に行きますか」—「バスで学校に行きます」

- 2 「今日は何曜日ですか」—「木曜日です」
 3 「今何時ですか」—「7時です」
 4 「あなたのお姉(妹)さんはどこに住んでいますか」—「仙台に住んでいます」

- 4 答 1 Let's walk to school.
 2 How tall is Junko?
 3 Is it Sunday today? [Is today Sunday?]
 4 Ken washes the car every day.

考え方 ① 1 〈Let's+動詞の原形 ~.〉の形に。「歩いて学校へ行きましょう」
 2 身長をたずねる文に。「純子の身長はどれくらいですか」
 3 「今日は日曜日ですか」という疑問文を作る。
 4 every dayにかえることで、現在の習慣を表す現在形の文になる。「健は毎日その車を洗います」

- 5 答 1 Who is walking with him?
 2 Where is the boy reading the book?

考え方 ① 1 Whoで始まる現在進行形の疑問文。「彼と歩いているのはだれですか」
 2 Whereで始まる現在進行形の疑問文。「その少年はどこでその本を読んでいますか」

- 6 答 1 Don't go to school today. It is[It's] Sunday today. [Today is Sunday.]
 2 Are you watching TV or playing the game? — I am[I'm] watching TV.

考え方 ① 1 第1文は禁止の命令文。曜日は解答例に示したように、itを使わない言い方もある。
 2 現在進行形に or を使った疑問文。

まとめのテスト⑥ P.94・95

- 1 答 1 ア 2 ア 3 イ 4 ア

考え方 ① 1 be動詞がないので進行形ではない。「だれが上手にピアノを弾きますか」
 2 Let'sのあとには動詞の原形。「公園に行きましょう」
 3 「2番目の」の意味の語に。「2月は1年のうちで2番目の月です」

4 watchingがあるので現在進行形の否定文。「彼らは今テレビを見ていません」

- 2 答 1 私たちの学校は8時30分[半]に始まって、3時30分[半]に終わります。
 2 彼は歩いているのではありません。彼はゆっくりと走っているのです。

考え方 ① 1 時刻の前のatに注意しておこう。
 2 第1文は現在進行形の否定文。

- 3 答 1 it 2 date 3 Which
 4 When 5 How old

考え方 ① 1 天候を表すit。「今日はくもっていますか」—「はい、くもっています」
 2 「今日は何月何日ですか」—「4月30日です」
 3 「どちらがあなたのかさですか」—「こちらのが私のです」
 4 「あなたたちはいつフットボールをしますか」—「放課後にします」
 5 「あなたのおばあさんは何歳ですか」—「68歳です」

- 4 答 1 Get up early every morning.
 2 What time does he go to bed?
 3 Is he swimming in the river?
 4 What are they doing in the park?

考え方 ① 1 主語をとり、動詞の原形で始める。「毎朝早く起きなさい」
 2 時刻をたずねる文に。「彼は何時に寝ますか」
 3 現在進行形にはbe動詞が使われることを忘れないように。「彼は川で泳いでいますか」
 4 tennisではなく、playing tennisに下線があるので「彼らは公園で何をしていますか」という文を作る。

- 5 答 1 Come to my house at nine tomorrow.
 2 Let's leave here about seven o'clock.

考え方 ① 1 命令文。「明日9時に私の家に来なさい」。特に強調する以外はtomorrowは文末に置く。
 2 誘う文。「7時ごろにここを出発しましょう」

6 ① 1 When does school [do schools] start[begin] in Japan?

— It starts[begin] [They start[begin]] in April.

2 What time do you usually have[eat] breakfast? — I have[eat] breakfast (at) about seven (o'clock).

考え方 ① 1 「いつ」と時をたずねるのはwhenで、このあとに疑問文の語順を続ける。
2 「いつもは、たいていは」はusually。「何時に」という時刻をたずねるのは what time。このあとに疑問文の語順を続ける。答えの文で at を使う場合は about の前に置く。

セクション 12-1 can の文①

▶▶ ポイント確認ドリル

P.97

1 ① (1) can (2) swim
(3) cannot[can't]
(4) cannot[can't] speak

考え方 ① (1)・(2)は肯定文、(3)・(4)は否定文になる。いずれも主語に関係なく<can[cannot]+動詞の原形>の形になる。

2 ① (1) 話すことができますが[話せませんが]、話すことができません[話せません]
(2) 話すことができます[話せます]、も話すことができます[も話せます]
(3) 話すことができません[話せません]、も話すことができません[も話せません]

考え方 ① (1) 前半は肯定文で、後半は否定文。
(2) 文末の too は Chinese にかかる。
(3) 否定文の either であることに注意。

P.98・99

1 ① (1) sing (2) can (3) play
(4) cannot[can't]

考え方 ① <can[cannot]+動詞の原形>の形にあてはめて考える。
(1) 「私はその新しい歌を歌うことができます」
(2) 「トムは日本語を上手に話すことができます」
(3) 「ジェーンはバイオリンを弾くことができます」

(4) 「恵子は今日ここに来ることができません」

2 ① (1) use (2) swimming
(3) walk (4) watch

考え方 ① (1) 「私はこの新しいコンピュータを使えません」 can't のあとは原形。
(2) 「私は今、川で泳いでいます」 現在進行形の文。
(3) 「私は今日歩いて学校へ行くことができません」 walk to ~で「~へ歩いて行く」の意味。
(4) 「夕食後にテレビを見ることができます」

3 ① (1) can cook
(2) cannot[can't] read

考え方 ① (1) 主語が3人称・単数でも can やそのあとに続く動詞に s がつくことはない。
(2) can の否定文になる。

4 ① (1) この国では人々は英語を話していません[話します]。
(2) 私は夢の中だけで上手に英語を話すことができます。

考え方 ① (2) 「~(することが)できる」という可能の意味がわかるような日本語にする。

5 ① (1) We can see stars at night.
(2) My brother can drive a car.
(3) Helen cannot[can't] play the guitar well.
(4) Tom cannot[can't] ride a horse.

考え方 ① (1) 「夜には星を見ることができます」
(2) can やそれに続く動詞の形に変化はない。「兄[弟]は車を運転できます」
(3) 否定文でも動詞などに変化はない。「ヘレンは上手にギターを弾けません」
(4) 「トムは馬に乗ることができません」

6 ① (1) He can write letters in English.
(2) You can't play here after school.
(3) My father can speak English and French.
(4) Bob can speak Japanese, but he cannot[can't] write it.

考え方 ① (1) 動詞の前に can を置く。
(2) 否定文になる。動詞の前に can't。
(3) English and French が speak の目

的語になる。

(4) 後半は否定文になる。

セクション 12-2 can の文②

▶▶ ポイント確認ドリル

P.101

- 1** 答 (1) Can (2) he
(3) Can (4) Can she

考え方 ① can の疑問文は can を主語の前に出す。

- (1) 「あなたは速く走れますか」
(2) 「彼はコンピュータが使えますか」
(3) 「トムは日本語が話せますか」
(4) 「彼女は泳げますか」

- 2** 答 (1) イ (2) ウ

考え方 ① 基本的に can の疑問文には can を使って答える。

- (1) 「あなたはこの本が読めますか」 — 「はい、読めます」
(2) 「今日ここにだれが来ることができますか」 — 「私です」

- 3** 答 (1) Can you play soccer well?
(2) What can you cook?

考え方 ① (1) 〈Can + 主語 + 動詞の原形〜?〉にあてはめる。
(2) What のあとに疑問文の語順が続く。

P.102・103

- 1** 答 (1) you (2) I

考え方 ① (1) Can you ~? で依頼を表すことがある。
(2) Can I ~? で許可を求める言い方になることがある。

- 2** 答 (1) Can / Yes (2) Can / play
(3) Who / can (4) What / can

考え方 ① (1) 「この絵[写真]の中に鳥が見えますか」 — 「はい、見えます。きれいですね」
(2) 「あなたはピアノかフルートを演奏できますか」 — 「フルートを演奏できます」
(3) 「だれがこの英語の歌を歌えますか」 — 「私の姉[妹]が歌えます」
(4) 「昼食に何が作れますか」 — 「サンドイッチを作ることができます」

- 3** 答 (1) エ (2) ア (3) ウ (4) イ

考え方 ① 質問文の意味は次の通り。

(1) 「あなたはこの語を読むことができますか」

(2) 「私は明日どこであなたに会えますか」

(3) 「私はいつあなたに会えますか」

(4) 「あなたはどちらの歌を歌えますか」

- 4** 答 (1) Can you play the piano well?
(2) Can Tom ride a horse?
(3) Who can come to the party?
(4) How many boys can you see there?

考え方 ① (1) 「あなたは上手にピアノが弾けますか」

(2) 「トムは馬に乗れますか」

(3) 「だれがパーティーに来ることができますか」

(4) 「何人の少年がそこに見えますか」

- 5** 答 (1) Can your sister ride a bike?
(2) When can I see your parents?
(3) Can you walk to school? — Yes, I can.
(4) Where can we see the strange animal(s)?

考え方 ① (1) Your sister can ride a bike. を疑問文にしたもの。

(2) When のあとに疑問文の語順を続ける。parent は複数形で「両親」の意味になることも覚えておこう。

(3) ふつうの can の疑問文。

(4) Where のあとは疑問文の語順。

セクション 13 会話表現

▶▶ ポイント確認ドリル

P.105

- 1** 答 (1) イ (2) エ

考え方 ① 会話表現には決まり文句になっているものがある。このまま覚えておこう。

- 2** 答 (1) sorry (2) welcome
(3) me (4) matter

考え方 ① (1) 「すみません」の意味。

(2) これも決まり文句。

(3) Excuse me のあとに、but を置いて文を続けることも多い。

(4) 同じ意味の What's wrong? の wrong は形容詞なので the はつかない。

- 1** 答 (1) have (2) help
(3) How (4) you are

考え方 ① (1) 電話をかけてきた相手に向かっていう言葉であることを確認しておこう。
(2) Can の代わりに May も使われる。
(3) What だと「あなたは何者ですか」の意味になってしまう。
(4) 同じ意味で Here it is. も使う。

- 2** 答 (1) thank (2) much
(3) for / about / Thank (4) get / can

考え方 ① (1) ていねいに断る表現。
(2) 値段をたずねる表現。
(3) look for ~ で「~を探す」。How about ~? で「~はいかがですか」。
(4) get to ~ で「~へ着く」。walk there ~ で「~そこへ歩いて行く」。

- 3** 答 (1) How is your father?
(2) What's the matter with you?
(3) This is his brother speaking.
(4) I'm looking for a new T-shirt.

考え方 ① (1) 主語が your father なので be 動詞も is になる。
(2) この文の with は「~に関して」の意。
(3) かかってきた電話に出たのが、相手が話したい人の兄弟の場合の表現。
(4) 店で買い求めているものを for のあとに続けられよう。

- 4** 答 (1) How about this white skirt?
(2) How much is that new computer?
(3) That's [it's] too bad.
(4) Thank you very [so] much.

考え方 ① (1) 〈this+形容詞+名詞〉の語順にも注意しておこう。
(2) 値段は How much で聞く。
(3) That's の代わりに It's もよく使う。
(4) Thank you. を強めた表現。

セクション **14-1** 過去の文【一般動詞】①

▶▶ ポイント確認ドリル P.109

- 1** 答 (1) played (2) helped
(3) wrote (4) used (5) stopped
(6) studied (7) carried

- (8) got (9) took (10) put

考え方 ① (1)・(2) ed をつけるだけ。
(6)・(7) y を i にかえて ed をつける。
(4) d だけをつける。
(5) 最後の子音字を重ねる。
(3)・(8)・(9)・(10) 不規則動詞。

- 2** 答 (1) washed (2) likes
(3) made (4) yesterday (5) came

考え方 ① (1) yesterday があるから過去形に。「昨日その車を洗いました」
(2) 前半が現在形なので、後半も現在形。「私は犬が好きで、彼女も犬が好きです」
(3) last night があるので過去形に。「彼は昨夜夕食を作りました」
(4) watched が過去形であることに注意。「彼女は昨日その試合を見ました」
(5) last month があるので過去形に。「トムは先月日本に来ました」

- 1** 答 (1) studied (2) dropped
(3) came (4) lived

考え方 ① (1) 過去形に。「私は昨日一生けんめい英語を勉強しました」
(2) 最後の子音字を重ねる。「私は先週その花びんを落としてしまいました」
(3) come の過去形は came。「トムは昨夜私の家に来ました」
(4) d だけをつける。「私たちは昨年ロンドンに住んでいました」

- 2** 答 (1) ○ (2) × (3) ○
(4) ×

考え方 ① (1) どちらも [t]。 (2) [id] と [d]。
(3) どちらも [id]。 (4) [id] と [t]。

- 3** 答 (1) 私は昨日11時に窓を閉めました。
(2) 林さんは10年前にこの本を書きました。

考え方 ① それぞれの副詞(句)にも注意しておこう。

- 4** 答 (1) went (2) saw
(3) studied (4) came
(5) read (6) did

考え方 ① いずれの動詞も過去形になる。
(1) 「私は昨日公園へ行きました」
(2) 「私は昨夜あなたのお父さんを見かけました」 see の過去形は saw。

- (3) 「私は先週一生けんめい数学を勉強しました」
 (4) 「彼女は5日前に私の家に来ました」
 (5) 「私は昨年その物語を読みました」
 readの過去形は同じつづりのread。
 (6) 「私はこの前の日曜日に宿題をしました」
 doの過去形はdid。

- 5** 答 (1) I got up early yesterday.
 (2) He ate bread for lunch last Monday.
 (3) He had a big house ten years ago.
 (4) He reads the interesting book.

考え方 ① (1) getの過去形はgot。「私は昨日早く起きました」
 (2) 特に強調する以外は、副詞(句)は文末に置く。eatの過去形はate。「彼はこの前の月曜日に昼食にパンを食べました」
 (3) has[have]の過去形はhad。「彼は10年前には大きな家を持っていました」
 (4) 過去形のreadの発音に注意しておこう。現在形で主語が3人称・単数なので、sがつく。「彼はそのおもしろい本を読みます」

- 6** 答 (1) Ken went to the zoo yesterday.
 (2) I took some pictures in Nara.
 (3) My uncle lived in Nagasaki ten years ago.
 (4) My sister went to bed at eleven (o'clock) yesterday.

考え方 ① (1) 主語はKen。
 (2) 主語はI。
 (3) 「～に住む」はlive in～。
 (4) go to bedのgoを過去形にする。

セクション **14-2** 過去の文[一般動詞] ②

▶▶ ポイント確認ドリル P.113

- 1** 答 (1) did (2) didn't (3) Did
 (4) study

考え方 ① 否定文の基本形は〈主語+did not [didn't]+動詞の原形～.〉で、疑問文の基本形は〈Did+主語+動詞の原形～?〉になる。
 (1) 「私は野球をしませんでした」

- (2) 「私はその車を洗いませんでした」
 (3) 「彼はお母さんを手伝いましたか」
 (4) 「彼女は英語を勉強しましたか」

- 2** 答 (1) did (2) didn't (3) Who

考え方 ① (1) 「あなたはパーティーに行きましたか」—「はい、行きました」
 (2) 「あなたはその本を読みましたか」—「いいえ、読みませんでした」
 (3) 「だれがその箱を開けましたか」—「私が開けました」

- 3** 答 (1) He didn't eat the apple.
 (2) Did you live in Tokyo?

考え方 ① 否定文・疑問文の基本形にあてはめて考えてみよう。

P.114・115

- 1** 答 (1) didn't[did not]
 (2) didn't[did not] (3) come
 (4) do

考え方 ① (1) 「私は去年魚が好きではありませんでした」
 (2) 「彼は昨日その手紙を書きませんでした」
 (3) 「彼女は私の家に来ませんでした」
 didn'tのあとは原形。
 (4) 「私は昨日宿題をしませんでした」
 「する」の意味の動詞の原形はdo。

- 2** 答 (1) Did / No (2) did / got
 (3) What / studied
 (4) Which / ate

考え方 ① (1) 「あなたはこの写真を撮りましたか」—「いいえ、撮りませんでした」
 (2) 「あなたは今朝早く起きましたか」—「はい、起きました。私は今日は5時に起きました」
 (3) 「あなたは今日は何を勉強しましたか」—「今日は英語と理科を勉強しました」
 (4) 「トムはどちらのケーキを食べましたか」—「大きいのを食べました」

- 3** 答 (1) エ (2) ア (3) ウ
 (4) イ

考え方 ① (1) 「いつ野球をしましたか」—「昨日しました」

- (2) 「昨日野球をしましたか」—「はい、しました」
 (3) 「どこで野球をしましたか」—「公園でした」
 (4) 「何人の少年が野球をしましたか」—「20人ほどの少年がしました」

- 4** ④ (1) She did not[didn't] write the long letter.
 (2) I did not[didn't] have any friends in America.
 (3) Did the boy make the doghouse?
 (4) Who went to Korea last year?

考え方 ① (1) 「彼女はその長い手紙を書きませんでした」 didn't のあとに原形。
 (2) 「私はアメリカに友だちがひとりもいませんでした」 some は否定文では any に。
 (3) 「その少年がその犬小屋を作ったのですか」 Did を文頭に。
 (4) 「だれが昨年韓国に行きましたか」 Who を文頭に置いて、主語として使う。

- 5** ④ (1) He didn't watch TV last night.
 (2) What did you see in the park?
 (3) Jane did not[didn't] help her mother this morning.
 (4) Did you see the movie? — Yes, I did.

考え方 ① (1) 過去の否定文になる。
 (2) What のあとは疑問文の語順。
 (3) did not[didn't] のあとには原形。
 (4) 「映画を見る」は see a movie. see の代わりに watch を使うこともある。テレビで映画を見る場合には watch がよく使われる。

セクション **15** 過去の文[be 動詞]

▶▶ ポイント確認ドリル P.117

- 1** ④ (1) was (2) were (3) is
 (4) was (5) are

考え方 ① (1) 主語が I で、過去の文なので was。
 (2) 主語が複数で、過去の文なので were。
 (3) 前半に I'm busy と現在形があり、also や now があるので、後半も現在形。

- (4) 主語が3人称・単数で、過去の文なので was。
 (5) 主語は「山田夫妻」で複数になり、now があるので現在形。

- 2** ④ (1) not (2) wasn't (3) Were
 (4) Was

考え方 ① (1) be 動詞 were のあとに not。
 (2) was not の短縮形 wasn't を使う。
 (3)・(4) be 動詞を主語の前に出す。

- 3** ④ (1) I was in the gym yesterday.
 (2) Were you free yesterday afternoon?

考え方 ① (1) be 動詞 was のあとに場所を表す語句を続ける。
 (2) You were free ...を疑問文にする。be 動詞 were を主語 you の前に出す。

P.118・119

- 1** ④ (1) were (2) was not[wasn't]
 (3) wasn't[was not]
 (4) weren't[were not] (5) were

考え方 ① (1) are の過去形は were。
 (2) was のあとに not。
 (3) She には was を使う。
 (4) You には were を使う。

- 2** ④ (1) was in (2) Was / was
 (3) When (4) What

考え方 ① (1) 「あなたは先週秋田にいましたか、それとも青森にいましたか」—「私は秋田にいました」
 (2) 「その少年は昨日あなたに親切でしたか」—「はい、親切でした」
 (3) 「彼らはいつロンドンにいましたか」—「彼らはそこに4月にいました」
 (4) 「そのときその箱には何が入っていましたか」—「大きなリンゴが1個入っていました」

- 3** ④ (1) イ (2) ウ
 (3) ア (4) エ

考え方 ① (1) イ 「暖かくていい天気でした」
 (2) ウ 「2人は東京にいました」
 (3) ア 「とてもおいしかったです」
 (4) エ 「彩がいました」

- 4** ④ (1) Kate was in Osaka last week.
 (2) They were not[weren't] in the

gym yesterday.

(3) Were you and Tom in the same class last year?

(4) Where was Jane an hour ago?

考え方 ① 書きかえた文の意味は次の通り。

- (1) 「ケイトは先週大阪にいました」
- (2) 「彼らは昨日体育館にいませんでした」
- (3) 「あなたとトムは昨年同じクラスでしたか」
- (4) 「1時間前ジェーンはどこにいましたか」

5 **答** (1) Was the story long or
(2) The tree was not so tall five years

考え方 ① (1) Was で始まる or のある疑問文にする。
(2) 主語をまず The tree と見定める。このあとに was を続ける。so は形容詞 tall の前に使う。否定文では「それほど、そんなに」の意味になる。

6 **答** (1) Were you in the library this morning? — Yes, I was.
(2) He was not [wasn't] a soccer player last year.

考え方 ① (1) be 動詞を主語 you の前に出す。答の文の主語は I になる。
(2) be 動詞のあとに not を入れる。this morning や last year などの副詞(句)は特に強調する以外は文末に置いて使う。

セクション 16 過去進行形の文

▶▶ ポイント確認ドリル P.121

1 **答** (1) looking (2) watching
(3) were (4) were (5) were

考え方 ① いずれも過去進行形の文。be 動は主語の合わせて was と were 使い分ける。それぞれ次の意味になる。
(1) 「私はその絵(写真)を見ていました」
(2) 「彼はテレビで野球を見ていました」
(3) 「彼らは公園を歩いていました」
(4) 「何人かの人たちが駅の近くに立っていました」
(5) 「私たちはそのとき台所で皿を洗っていました」

2 **答** (1) not (2) wasn't (3) Were

(4) playing

考え方 ① (1) be 動詞 were のあとに not。
(2) was not の短縮形 wasn't を使う。
(3)・(4) be 動詞が主語の前に出る形になる。

3 **答** (1) I was not reading this book.
(2) Were you studying in the library?

考え方 ① (1) be 動詞 was のあとに not。「この本を読む」= read this book。
(2) You were studying in the library. を疑問文にしたもの。be 動詞 were を主語 you の前に出す。

P.122・123

1 **答** (1) listening (2) wasn't [was not]
(3) were (4) helping (5) doing

考え方 ① (1) 「私はそのとき音楽を聞いていました」
(2) 「彼はそのときピアノを弾いていませんでした」
(3) 「そのときその2人の少年は泳いでいました」
(4) 「彼女はお母さんを手伝っていませんでした」
(5) 「私たちはそのとき宿題をしていました」

2 **答** (1) Were (2) she wasn't
(3) What / was (4) Who / were

考え方 ① (1) 「あなたはこの本を読んでいたのですか」—「はい、読んでいました」
(2) 「あなたのお姉さん[妹さん]はそのときケーキを作っていたのですか」—「いいえ、作っていませんでした」
(3) 「あなたはそのとき何を勉強していたのですか」—「私は英語を勉強していました」
(4) 「だれがプールで泳いでいましたか」—「奈菜と明美が泳いでいました」

3 **答** (1) ウ (2) ア (3) エ (4) イ

考え方 ① (1) ウ 「はい、そうです」
(2) ア 「私の父が使っていました」
(3) エ 「彼はこの赤いのを使っていました」
(4) イ 「彼はそれを自分の部屋で使っていました」

- 4** 答 (1) I was looking for my key.
 (2) He was not[wasn't] sleeping in his room.
 (3) Were they having lunch together?
 (4) What was Helen reading then?

考え方 ① (1) 「私は鍵を探していました」 主語がIなので、wasを使う。
 (2) 「彼は自分の部屋で眠っていませんでした」
 (3) 「彼らはいっしょに昼食を食べていましたか」
 (4) 「ヘレンはそのとき何を読んでいましたか」 下線部は「物」を表しているので、疑問詞は what になる。

- 5** 答 (1) I was walking my dog in the
 (2) What were you doing here?

考え方 ① (1) まず、主語、be 動詞、～ing を確認する。この文の walk の意味にも注意する。
 (2) What のあとに過去進行形の疑問文の語順を続ける。

- 6** 答 (1) I was not[wasn't] reading this magazine then[at that time].
 (2) Where were you playing baseball this morning?

考え方 ① (1) 過去進行形の否定文。was のあとに not。was not の短縮形 wasn't を使ってもよい。「そのとき」は at the time でもよい。
 (2) 「どこで」の Where のあとに過去進行形の疑問文の語順を続ける。

セクション **17** There is[are] ～. の文

▶▶ ポイント確認ドリル P.125

- 1** 答 (1) is (2) are
 (3) is (4) is (5) are

考え方 ① あとに続く名詞が単数なら is を、複数なら are を使う。
 (1) 「机の上にえんぴつが1本あります」
 (2) 「机の上に本が2冊あります」
 (3) 「テーブルの上にオレンジが1個あります」
 (4) 「木の下に犬が1匹います」
 (5) 「この家にはたくさんのネコがいます」

次の a にひかれて is としないように。a lot of ～は「たくさんの～」の意味になる。

- 2** 答 (1) not (2) are (3) Is
 (4) there

考え方 ① (1) be 動詞 is のあとに not。
 (2) be 動詞 are は not の前。
 (3)・(4) be 動詞が there の前になる形になる。

- 3** 答 (1) There are three students in the classroom.
 (2) Is there a library in this town?

考え方 ① (1) 「3人の生徒」は複数なので、There are の形にして、three students を続けなければよい。
 (2) library が単数なので、There is の疑問文にする。

P.126・127

- 1** 答 (1) under (2) on
 (3) in (4) on

考え方 ① (1) 「～の下に」は under。
 (2) 「～の上に」は on。
 (3) 「～の中に、～に」は in。
 (4) 「(接触状態で)～に」は on。例えば「天井に」でも、on the ceiling とする。(ceiling は「天井」の意味)

- 2** 答 (1) are (2) was

考え方 ① (1) seven days が複数なので、are を使う文になる。
 (2) had と過去形で、a concert が単数なので、was を使う文になる。

- 3** 答 (1) ウ (2) ア
 (3) エ (4) イ

考え方 ① (1) ウ 「はい、いくつかあります」
 (2) ア 「はい、ありました」
 (3) エ 「10冊あります」
 (4) イ 「新しいコンピュータがあります」

- 4** 答 (1) There is not[isn't] a table in this room.
 (2) There are not[aren't] any balls in the bag.
 (3) Are there any cups on the table?
 (4) How many birds are there in the

cage?

考え方 ① 書きかえた文の意味は次の通り。

- (1) 「この部屋にテーブルはありません」
- (2) 「そのかばんにボールは1個も入っていません」 否定文では some を any にかえる。not any ~で「1つも[1人も]~ない」の意味を表すことも覚えておこう。
- (3) 「テーブルの上にカップが(いくつ)ありますか」 疑問文でも some はふつう any にかえる。
- (4) 「鳥かごに何羽の鳥がいますか」 下線部は数を表しているの、How many の疑問文になる。

5 **答** (1) There was an old house near
(2) Are there many animals in

考え方 ① (1) was があるので過去の文になる。「~の近くに」は near ~。
(2) まず、疑問文になることに注意する。There are many animals ...を疑問文にしたものになる。

6 **答** (1) There are twenty [20] teachers in our school.
(2) How many balls are there in the box?

考え方 ① (1) twenty teachers が複数なので、There are の文になる。
(2) 数をたずねるので How many を使い、このあとに疑問文の語順を続ける。

セクション **18** 動詞を使う表現

▶▶ ポイント確認ドリル P.129

1 **答** (1) watch (2) reading
(3) playing (4) cook (5) eating

考え方 ① (1) 「私は今テレビを見たい」 want to のあとには動詞の原形を続ける。
(2) 「私たちはその本を読んで楽しみました」 enjoy ~ing で「~して楽しむ」。
(3) 「彼は野球をするのが得意です」 be good at ~ing で「~するのが得意[上手]だ」。
(4) 「彼は今日料理をしたくありません」 want to の否定文になる。
(5) 「私たちは全員リンゴを食べるのが

好きです」 to eat も英語としては正しいが、「1語」という指定があるので~ing 形にする。

2 **答** (1) あなたは海で泳ぐのが好きですか。
(2) 彼女は今日とても疲れているように見えます。

考え方 ① (1) like to ~で「~することが好き」の意味。like の目的語には to ~と~ing の両方使うことができるが、一般的に「~することが好き」には like ~ing とすることが多い。like to ~は前後関係から「~したい」の意味を表すこともある。
(2) look のあとに続く形容詞に very がついた形。

3 **答** (1) Do you want to buy this book?
(2) Do you like running in the park?

考え方 ① (1) want to ~の疑問文。buy が動詞の原形になる。
(2) like ~ing の文。

P.130・131

1 **答** (1) to know (2) swimming
(3) to speak (4) cooking
(5) to use

考え方 ① それぞれの文の意味は次の通り。
(1) 「私はあなたの名前を知りたい」
(2) 「あなたは川で泳いで楽しみましたか」
(3) 「あなたはここでは英語で話す必要があります」
(4) 「私はカレーを料理するのが得意ではありません」
(5) 「私はこの自転車を使いたくありません」

2 **答** (1) ① 彼のお母さんは本当に若い。
② 彼のお母さんは本当に若く見えます。
(2) ① 何人かの人たちが古い切手を見ている。
② 私は古い切手を見るのが好きです。

考え方 ① (1) ①は実際に若いことを表し、②は若く見えるということ。
(2) ① 現在進行形の文。② looking は like の目的語になっている。

3 **答** (1) strange (2) going

考え方 ① (1) 「あなたの話は奇妙に聞こえますが、

でも私はあなたを信じます」
 (2) 「私は絵を見るのが好きです。美術館へ行くのはどうですか」

- 4** ④ (1) **want to be an English teacher**
 (2) **didn't look happy this morning**
 (3) **not good at swimming in the sea**
 (4) **didn't try to tun fast**
 (5) **do you want to do**

考え方 ① (1) 「私は英語の教師になりたい」 am が不要。
 (2) 「私の姉〔妹〕は今朝楽しそうに見えませんでした」 to が不要。
 (3) 「私は海で泳ぐのが得意ではありません」 on が不要。
 (4) 「彼は速く走ろうとしませんでした」 of が不要。
 (5) 「あなたは今日何がしたいですか」 are が不要。

- 5** ④ (1) **Do you want to play tennis now?**
 (2) **I like walking with my dog(s) . / I like to walk with my dog(s).**
 (3) **The dictionary does not[doesn't] look new.**

考え方 ① (1) want to ~の疑問文になる。
 (2) ~ing か to ~を like の目的語として使う。
 (3) look のあとに形容詞 new を続ける。主語が 3 人称・単数の否定文になる。

まとめのテスト⑦

P.132・133

- 1** ④ 1 ア 2 イ 3 イ
 4 イ 5 ア 6 ア

考え方 ① 1 can のあとは原形。「兄〔弟〕は速く泳げます」
 2 last week は過去を表す。「私は先週フットボールをしました」
 3 two years ago は過去を表す。「ジェーンは2年前フランスに行きました」
 4 yesterday morning(昨日の朝)は過去を表す。last morning とはふつう言わない。「彼は昨日の朝ここに来ませんでした」
 5 can に s はつかない。「だれがこの質問に答えることができますか」
 6 didn't のあとは原形。「私は昨日彼を訪ねませんでした」

- 2** ④ 1 私の母はスキーはできませんが、とても上手にスケートが滑れます。
 2 トムはいつも朝食を食べますが、今朝は食べませんでした。

考え方 ① 1 前半は否定文。
 2 didn't のあとに、eat breakfast を補って考える。

- 3** ④ 1 Can 2 Did 3 had
 4 When

考え方 ① 1 「あなたは英語で手紙が書けますか」
 —「はい、書けます」
 2 「あなたは昨日公園へ行きましたか」
 —「いいえ、行きませんでした」
 3 「昼食に何を食べましたか」—「サンドイッチをいくつか食べました」
 4 「あなたはいつ日本に来ましたか」—「3年前に日本に来ました」

- 4 答 1 Jane cannot[can't] speak Japanese well.
2 We were in Kyoto yesterday.
3 Where did they play baseball?
4 Who can solve this problem?

考え方 ① 1 「ジェーンは上手に日本語が話せません」
2 「私たちは昨日京都にいました」
3 「彼らはどこで野球をしましたか」
4 「だれがこの問題を解けますか」

- 5 答 1 He did not do his homework yesterday. (yesterday は文頭でも可)
2 My father can speak English and French[French and English].

考え方 ① 1 「彼は昨日宿題をしませんでした」
2 「父は英語とフランス語〔フランス語と英語〕が話せます」

- 6 答 1 Who helped our teacher? — Tadashi did.
2 What can you see in this picture? — I can see some animals.

考え方 ① 1 Who を主語として使う。
2 答えの文は主語を補って考える。



まとめのテスト⑧ P.134・135

- 1 答 1 イ 2 ア 3 ア
4 イ 5 ア 6 イ

考え方 ① 1 最後の子音字を重ねる。「その列車は各駅にとまりました」
2 read の過去形は read。「ケートは先週その本を読みました」
3 can に s がつくことはない。「だれもこの質問に答えられません」
4 didn't のあとは原形。「私は昨夜そのパーティーに行きませんでした」
5 see が原形。「私はそこでだれも人を見かけませんでした」
6 didn't のあとに watch the game が省かれている。「トムはその試合を見ましたが、私は見ませんでした」

- 2 答 1 私の父はとても上手にこの新しいコンピュータを使えますが、私はそれが使えません。
2 今私にはたくさんの友だちがいますが、5年前はひとりもいませんでした。

考え方 ① 1 but 以下は can の否定文になっている。
2 any のあとに friends を補って考えるとわかりやすい。

- 3 答 1 much 2 welcome
3 for 4 matter

考え方 ① 1 「この白いシャツはいくらですか」— 「2,000 円です」
2 「ありがとうございます」— 「どういたしまして」
3 「いらっしゃいませ」— 「帽子を探しているのですが」
4 「どうされましたか」— 「寒いです」

- 4 答 1 Mr. Smith cannot[can't] write kanji well.
2 I was doing my homework then.
3 What time did Ann get to the station?
4 How are you?

考え方 ① 1 「スミスさんはうまく漢字が書けません」

- 2 「私はそのとき宿題をしていました」
 3 「アンは何時に駅に着きましたか」
 4 「私は元気です、ありがとう。あなたはいかがですか」→「ご機嫌いかがですか[お元気ですか]」

- 5 答 1 Did the teacher say anything about me?
 2 How many students came to the party?

- 考え方 1 「先生は私について何か言いましたか」
 2 「何人の生徒がパーティーに来ましたか」

- 6 答 1 Who can answer this question? — Junko can.
 2 Did you take this picture or that one [picture]? — I took this one [picture].

- 考え方 1 答え方に注意。
 2 答えの文は主語を補って考える。



総合テスト①

P.136・137

- 1 答 1 △ 2 ○ 3 ×

- 考え方 1 [ei]と[æ]。 2 [ai]。
 3 [i]と[(j)u:]と[ʌ]。

- 2 答 1 his 2 sister 3 don't
 4 studied 5 boxes
 6 second

- 考え方 1 主格と所有格。 3 短縮形。
 4 原形と過去形。 6 序数。

- 3 答 1 is not 2 This, yours
 3 Let's play 4 don't, the [that]
 5 came, ago

- 考え方 1 be 動詞の否定文。 → 5
 3 誘う言い方。 → 22
 4 一般動詞の否定文と冠詞。 → 10・14

- 4 答 1 How old 2 What time
 3 Whose 4 Who

- 考え方 1 年齢のたずね方。 → 25
 2 時刻のたずね方。 → 23
 3 「だれの」の意味の語。 → 21
 4 Who が主語。 → 32

- 5 答 1 How many bikes does he have?
 2 Don't open the box.
 3 These are interesting books.
 4 Did he help his mother yesterday?

- 考え方 2 禁止の命令文。 → 22
 3 主語が複数の文。 → 16

- 6 答 1 Who is [Who's] this boy? — He is [He's] my brother.
 2 What is [What's] he doing now? — He is [He's] washing his father's car.

- 考え方 1 Who の疑問文。 → 6
 2 疑問詞で始まる現在進行形の疑問文。 → 30

総合テスト②

P.138・139

1 答 1 △ 2 × 3 ○

考え方 ① 1 [i:]と[e]。 2 [s]と[z]と[iz]。
3 [i:]。

2 答 1 has 2 swimming 3 us
4 those 5 old 6 forty

考え方 ① 1 原形と3人称・単数形。→ 17
2 mを重ねる。 3 主格と目的格。
5 反意語。 6 fortyではない。

3 答 1 are playing 2 doesn't go
3 didn't do 4 Don't open
5 There are

考え方 ① 1 現在進行形の文。→ 28
2 主語は3人称・単数。→ 18
3 過去の否定文。→ 35
5 There are ~. の文。→ 39

4 答 1 Which 2 Where
3 What 4 What time

考え方 ① 1 「どちらの」の意味の語。→ 26
2 場所をたずねる文。→ 27
3 形容詞としてのWhat。→ 12

5 答 1 He went to school by bus
yesterday.
2 What is[What's] Tom doing in the
room?
3 We are[We're] high school students.
4 Can Jane answer this question?

考え方 ① 2 疑問詞で始まる現在進行形の疑問
文。→ 30
3 主語が複数の文。→ 16

6 答 1 Who came here yesterday
morning? — Tom did.
2 I like apples, but I do not[don't]
like oranges. How about you?

考え方 ① 1 Whoが主語の過去の疑問文。→ 36
2 「~はどうですか」はHow about ~?
→ 25

総合テスト③

P.140・141

1 答 1 ○ 2 × 3 △

考え方 ① 1 [ou]。 2 [d]と[t]と[id]。
3 [u:]と[u]。

2 答 1 aunt 2 yours 3 fifth
4 August 5 children 6 right

考え方 ① 3 序数。 4 月の名。
5 単数と複数。 6 同じ発音の語。

3 答 1 I'm not 2 look, happy
3 date 4 How tall
5 not studying

考え方 ① 1 be動詞の否定文。→ 8
2 「~に見える」はlook。→ 40
3 日付のたずね方。→ 24
4 身長のたずね方。→ 25
5 現在進行形の否定文。→ 28

4 答 1 day 2 Are 3 Is, or
4 Did

考え方 ① 1 曜日のたずね方。→ 24
2 現在進行形の疑問文。→ 29
3 orのある疑問文。→ 4・5
4 一般動詞過去の疑問文。→ 36

5 答 1 He does not[doesn't] have
any brothers.
2 How did he come to the party?
3 This picture is beautiful.
4 Let's listen to the song.

考え方 ① 1 主語が3人称・単数で一般動詞の否
定文。→ 15・18
3 形容詞の2用法。→ 13
4 誘う文。→ 22

6 答 1 How many apples did you eat
[have] today? — I ate[had] five
(apples).
2 Whose pencil(s) did you use?
— I used my father's (pencil(s)).

考え方 ① 1 疑問詞で始まる過去の疑問文。
→ 15・36
2 「だれの」はWhoseで、あとに名詞
を伴う用法。→ 21・36

総合テスト④

P.142・143

1 答 1 △ 2 ○ 3 ×

考え方 1 [ʌ]と[ju:]。 2 [i:]。
3 [u:]と[a]と[ou]。

2 答 1 here 2 his 3 eighth
4 carried 5 took 6 get

考え方 1 同じ発音の語。 2 所有代名詞。
3 eighthではない。
5・6 take, getは不規則動詞。

3 答 1 These, ours 2 from, too
3 How did 4 Don't, please
5 What, reading

考え方 1 主語は複数。→ 16・20
3 交通手段をたずねる how。→ 25
5 Whatで始まる現在進行形の疑問文。→ 30

4 答 1 wrong number 2 How much
3 I help 4 How, to

考え方 1 電話での会話。→ 33
3 店員の「いらっしゃいませ」。→ 33

5 答 1 He did not[didn't] see the new movie.

2 When did she get that pretty doll?

3 Kate is making lunch in the kitchen.

4 How many students went to the party?

考え方 1 一般動詞過去の否定文。→ 35

2 Whenで始まる一般動詞過去の疑問文。→ 36

3 makeはmakingに。→ 28

4 How many studentsを主語として使う。→ 15・36

6 答 1 What do you want to do today?
— I want to go to the park.

2 When did he write the book? —
He wrote it twenty[20] years ago.

考え方 1 <want to ~>の疑問文。→ 40

2 Whenで始まる一般動詞過去の疑問文。→ 36



2102R1